

第3章 子育て支援サービスの現在の利用状況と今後の利用希望について

1. 定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望について

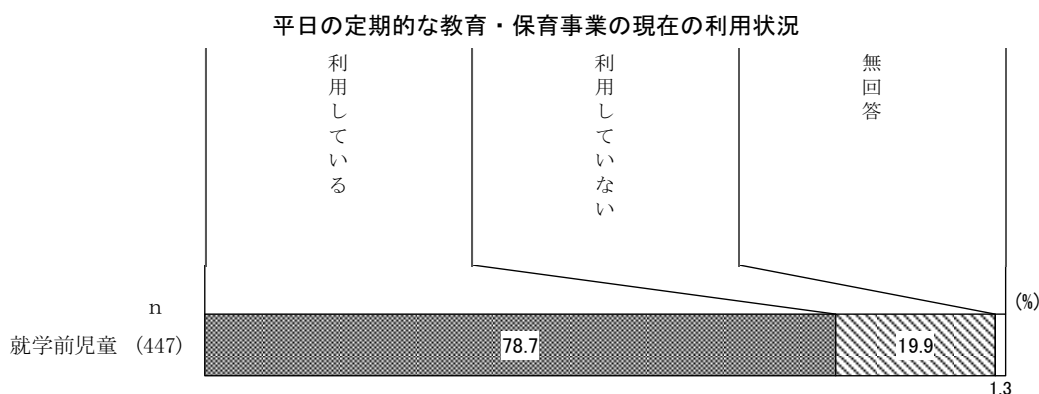
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

○平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況をみると、「利用している」は78.7%となっている。

○年齢別にみると、「利用している」は0歳でも47.1%、1歳では71.4%、2歳では81.7%に増え、3歳以上では97.4%と利用年齢の低年齢化が進んでいる。

【就学前児童 問14】

宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)



<年齢別>

	調査数	利用している	利用していない	無回答
上段：件数 下段：%				
全体	447 100.0	352 78.7	89 19.9	6 1.3
年齢別				
0歳	102 100.0	48 47.1	54 52.9	0 0.0
1歳	70 100.0	50 71.4	20 28.6	0 0.0
2歳	71 100.0	58 81.7	12 16.9	1 1.4
3歳	65 100.0	63 96.9	0 0.0	2 3.1
4歳	69 100.0	67 97.1	1 1.4	1 1.4
5歳	59 100.0	58 98.3	0 0.0	1 1.7
年齢別(3区分)				
0歳	102 100.0	48 47.1	54 52.9	0 0.0
1～2歳	141 100.0	108 76.6	32 22.7	1 0.7
3～5歳	193 100.0	188 97.4	1 0.5	4 2.1

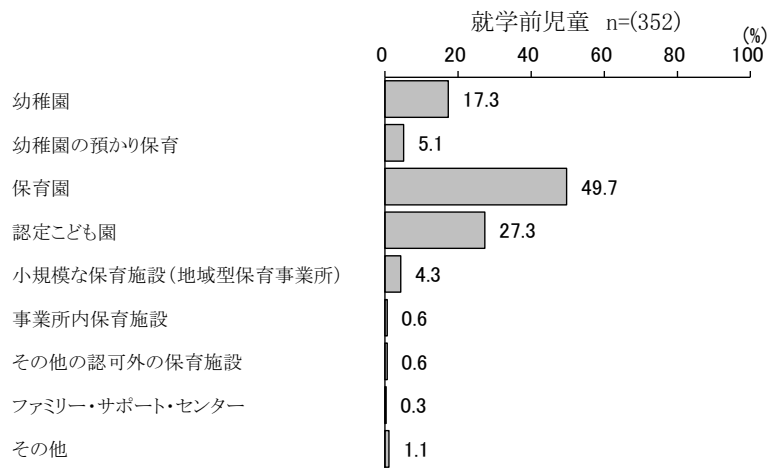
○利用中の平日の定期的な教育・保育事業をみると、「保育園」(49.7%)が最も多く、以下「認定こども園」(27.3%)、「幼稚園」(17.3%)の順になっている。

【就学前児童 問 14-1】

問 14-1～問 14-4 は、問 14 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用中の平日の定期的な教育・保育事業



- 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用日数・利用時間をみると、利用日数は1週当たり「5日」(97.4%)が圧倒的であり、利用時間は1日当たり「8時間」(29.8%)、「9時間」(27.8%)がともに多く、以下「10時間」(18.8%)と8時間以上が81.8%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用開始時間・利用終了時間をみると、利用開始時間は「8時台」(58.8%)、「9時台」(22.2%)、「7時台」(17.3%)に集中しており、利用終了時間は「17時台」(39.5%)、「16時台」(29.0%)、「18時台」(21.0%)となっており、18時台以降は21.6%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望日数・希望時間をみると、希望日数では1週当たり「5日」(82.1%)が圧倒的であり、希望時間は1日当たり「9時間」(24.4%)、「10時間」(21.0%)、「8時間」(19.6%)と8時間以上が71.8%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(50.3%)が最も多く、以下「7時台」「9時台」(ともに15.6%)、希望終了時間は「17時台」(36.1%)、「18時台」(22.2%)、「16時台」(16.5%)の順になっており、19時以降は3.1%となっている。

【就学前児童 問14-2】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

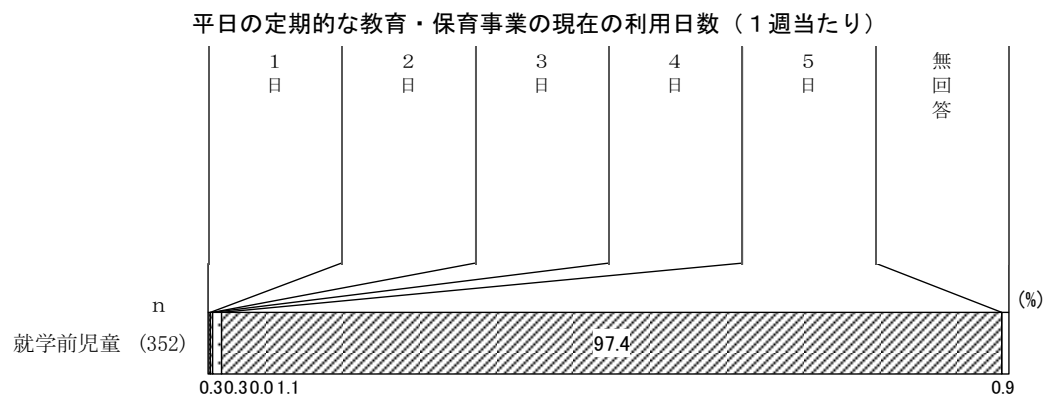
平日定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

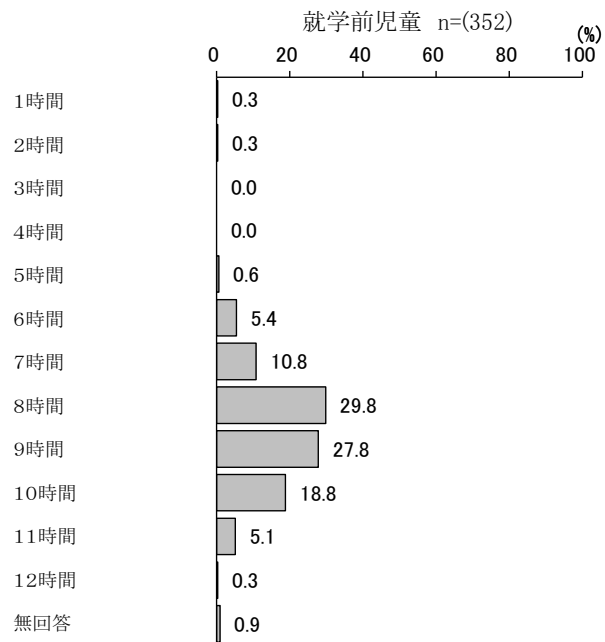
※時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※問14-1で複数の事業に○をつけた方は、若い番号の事業についてお答えください。

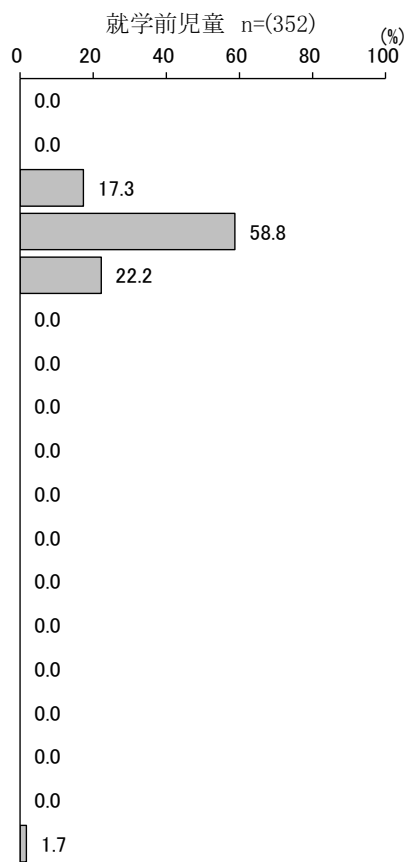
(1) 現在



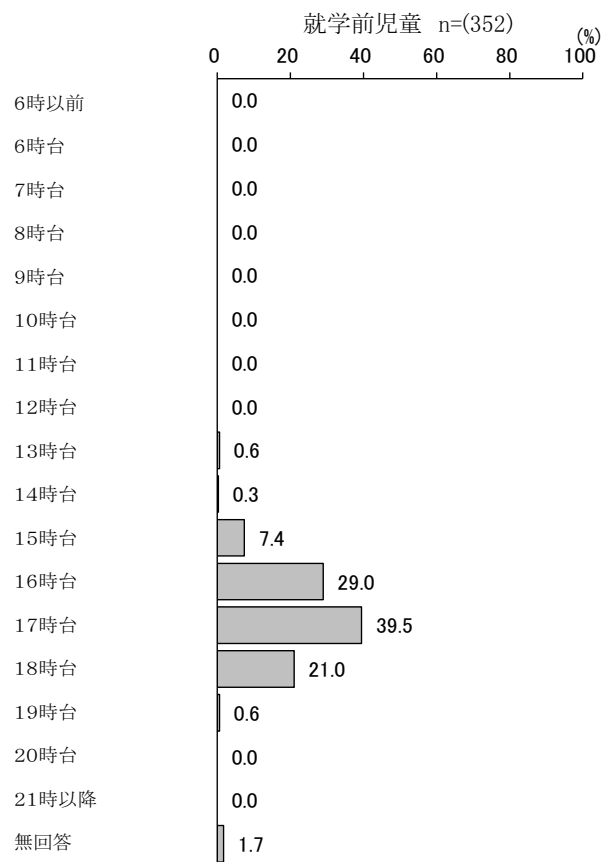
平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用時間（1日当たり）



利用開始時間

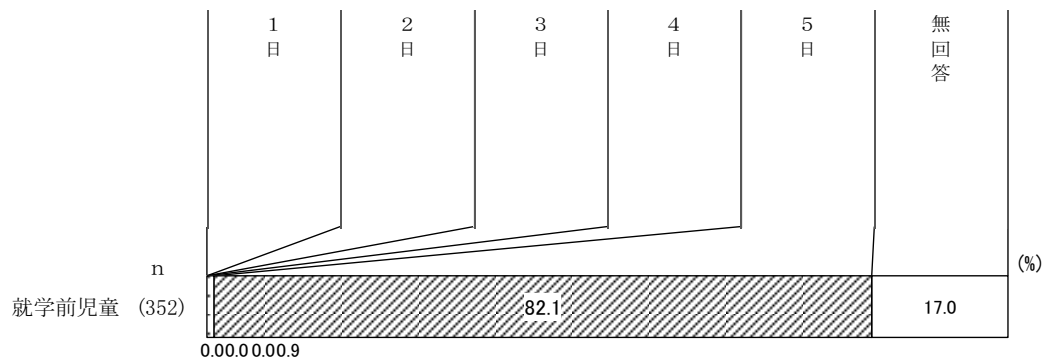


利用終了時間

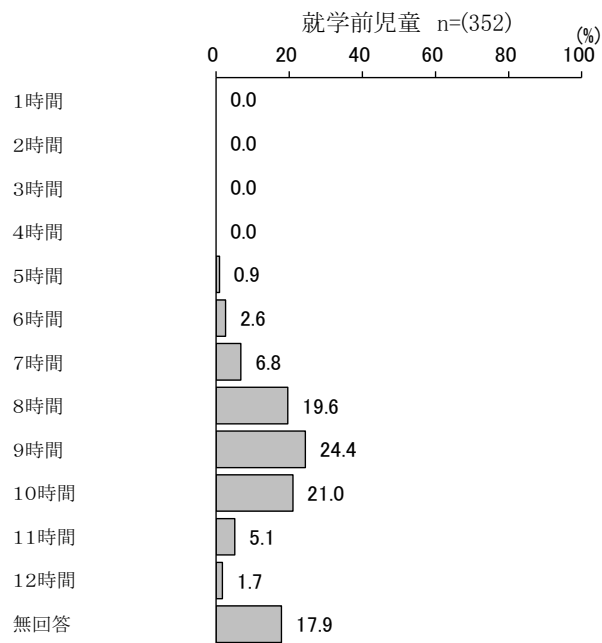


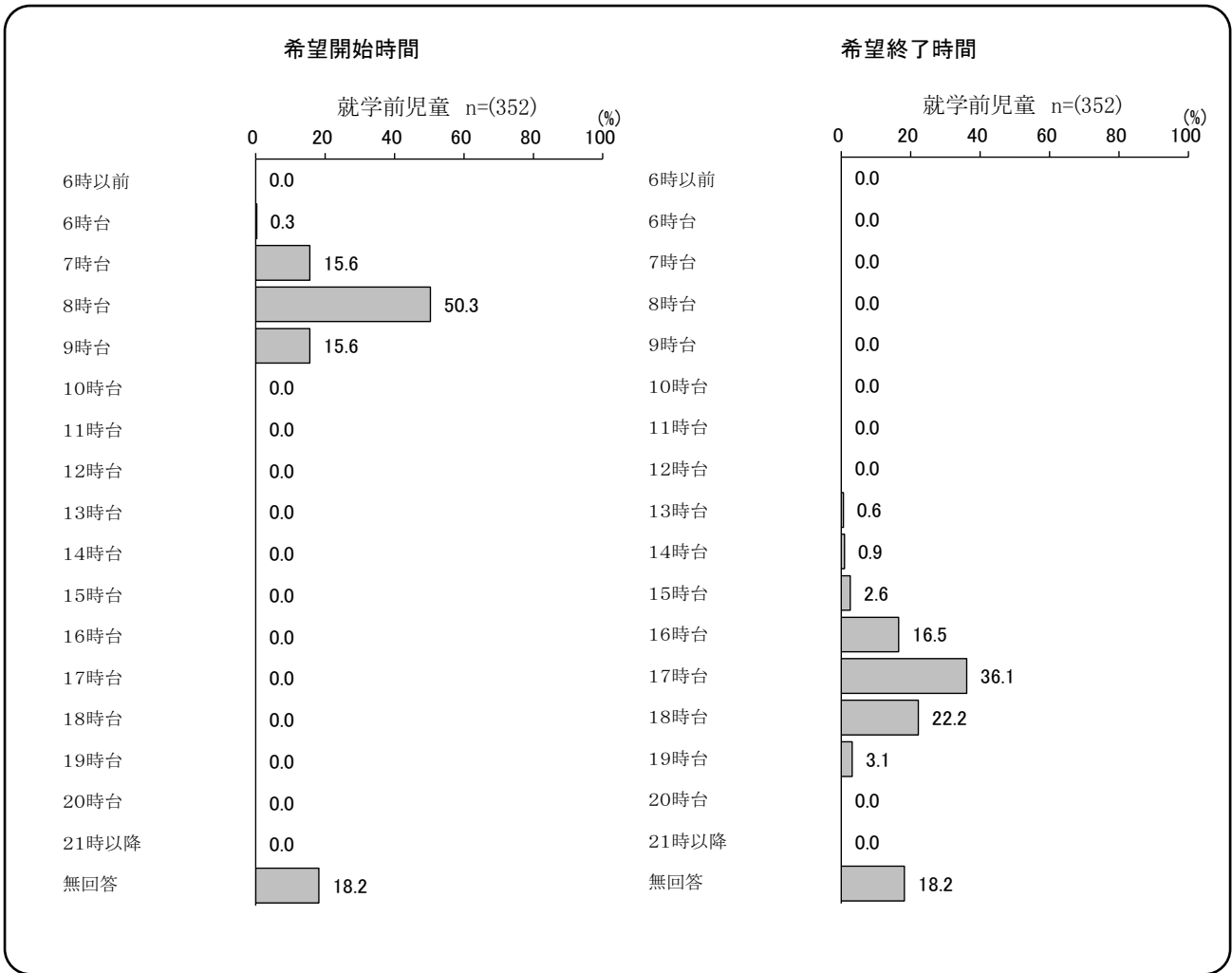
(2) 希望

平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望日数（1週当たり）



平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望時間（1日当たり）





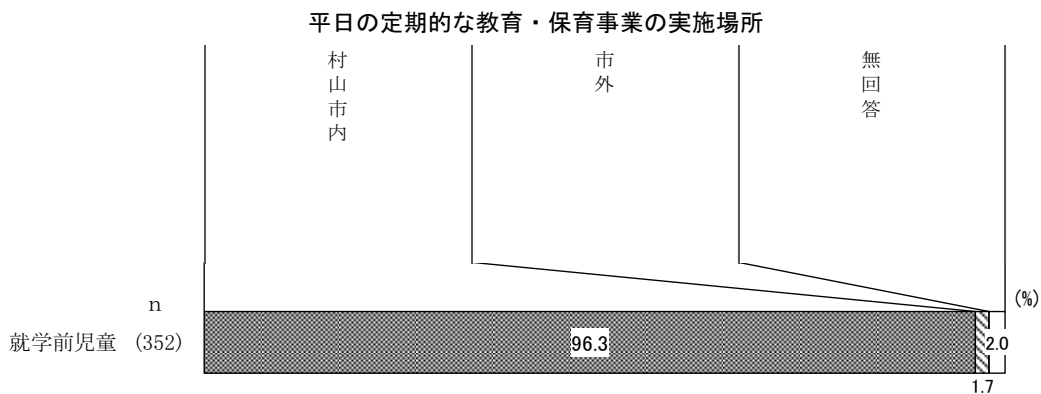
○平日の定期的な教育・保育事業の実施場所をみると、「村山市内」が96.3%となっている。

【就学前児童 問14-3】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

(あてはまる番号1つに○)



- 定期的な教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」(90.6%)、「子どもの教育や発達のため」(66.5%)の2回答に集約される。
- 年齢別(3区分)にみると、「子育てをしている方が現在就労している」がどの年齢でも最も多いが、年齢が上がるほど「子どもの教育や発達のため」が多くなっており、3～5歳では79.8%となっている。

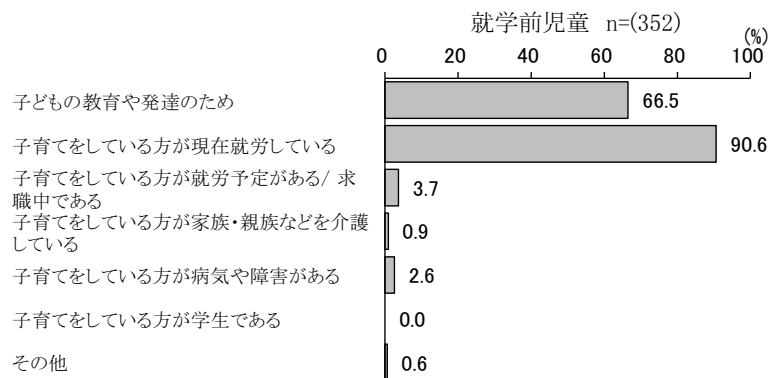
【就学前児童 問14-4】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用している理由



<年齢別>

	調査数	子どもの教育や発達のため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方が就労予定がある/求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方が病気や障害がある	子育てをしている方が学生である	その他	無回答
全体	352 100.0	234 66.5	319 90.6	13 3.7	3 0.9	9 2.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0
年齢別									
0歳	48 100.0	23 47.9	47 97.9	0 0.0	0 0.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	50 100.0	26 52.0	46 92.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0
2歳	58 100.0	29 50.0	57 98.3	3 5.2	0 0.0	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3歳	63 100.0	47 74.6	53 84.1	4 6.3	0 0.0	1 1.6	0 0.0	1 1.6	0 0.0
4歳	67 100.0	52 77.6	59 88.1	2 3.0	2 3.0	3 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5歳	58 100.0	51 87.9	52 89.7	1 1.7	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢別(3区分)									
0歳	48 100.0	23 47.9	47 97.9	0 0.0	0 0.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1～2歳	108 100.0	55 50.9	103 95.4	6 5.6	1 0.9	2 1.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0
3～5歳	188 100.0	150 79.8	164 87.2	7 3.7	2 1.1	5 2.7	0 0.0	1 0.5	0 0.0

○定期的な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」(52.8%)が最も多く、以下「利用する必要がない」(37.1%)、「子どもの祖父母や親戚がみている」(24.7%)、「利用したいが、保育・教育の事業(施設等)に空きがない」(7.9%)の順になっている。

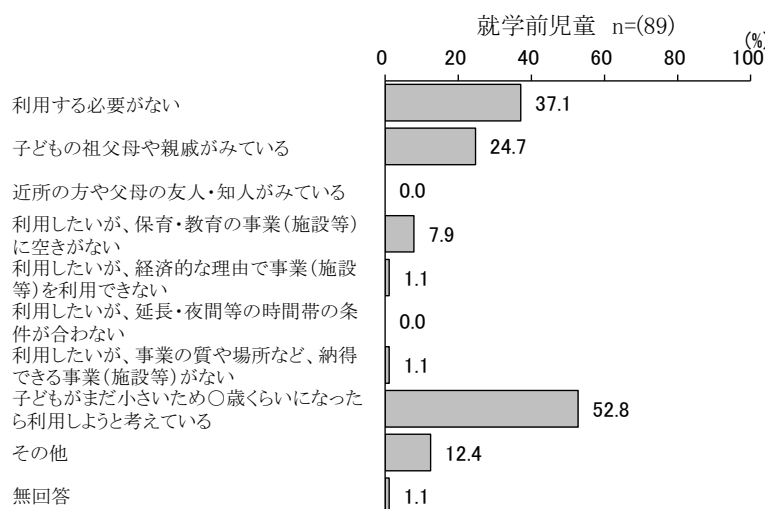
○年齢別(3区分)にみると、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が0歳で53.7%と最も多く、年齢が上がるほど少なくなっており、乳児期からの預かりニーズの高まりは明らかである。

【就学前児童 問14-5】

問14で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用していない理由



<年齢別>

	調査数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚がみている	近所の方や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業(施設等)に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業(施設等)を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業(施設等)がない	子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	89	33	22	0	7	1	0	1	47	11	1
上段：件数											
下段：%	100.0	37.1	24.7	0.0	7.9	1.1	0.0	1.1	52.8	12.4	1.1
年齢別											
0歳	54	18	10	0	6	0	0	0	29	9	0
	100.0	33.3	18.5	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	53.7	16.7	0.0
1歳	20	10	6	0	1	1	0	0	11	1	1
	100.0	50.0	30.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	55.0	5.0	5.0
2歳	12	5	5	0	0	0	0	1	5	1	0
	100.0	41.7	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	8.3	0.0
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別(3区分)											
0歳	54	18	10	0	6	0	0	0	29	9	0
	100.0	33.3	18.5	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	53.7	16.7	0.0
1~2歳	32	15	11	0	1	1	0	0	16	2	1
	100.0	46.9	34.4	0.0	3.1	3.1	0.0	3.1	50.0	6.3	3.1
3~5歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、現在利用しているとの回答が最も多かった「保育園」が52.6%と最も多く、以下「認定こども園」(33.6%)、「幼稚園」(30.0%)となっている。

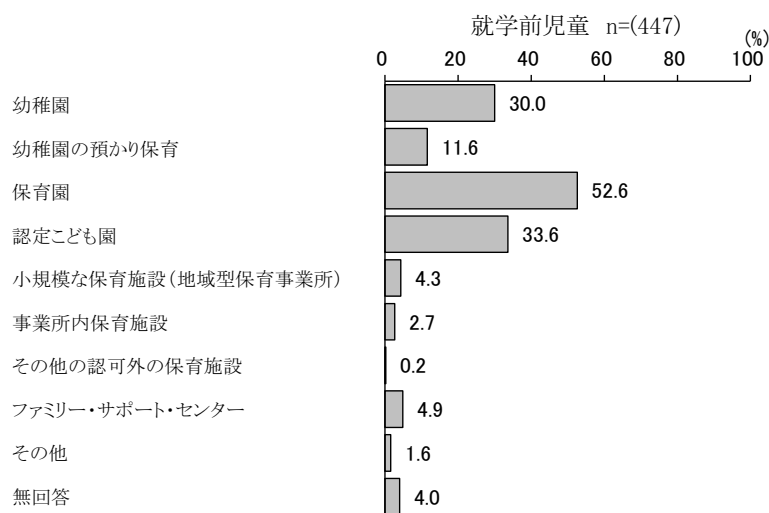
【就学前児童 問15】

すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

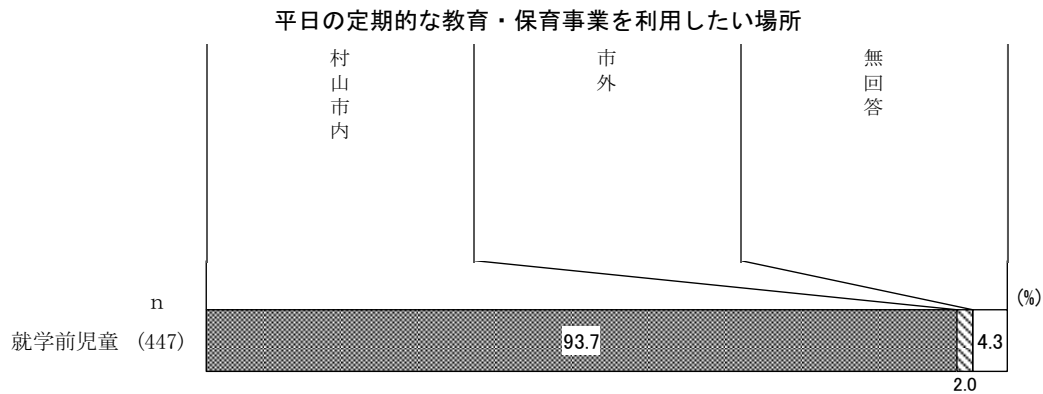
平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望



○平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所をみると、「村山市内」が93.7%となっている。

【就学前児童 問15-1】

教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

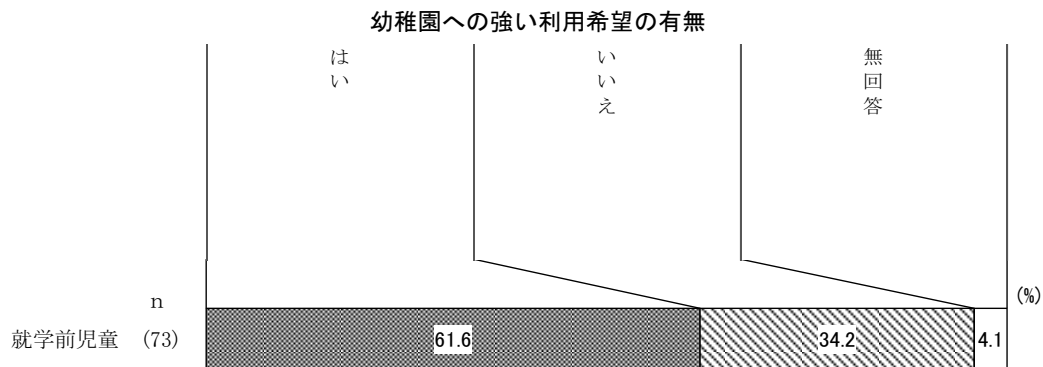


○「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ他の教育・保育事業も選択した方の幼稚園への強い利用希望の有無をみると、「はい」が61.6%となっている。

【就学前児童 問15-2】

問15で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他の教育・保育事業にも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
(あてはまる番号1つに○)



(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の
今後の利用希望

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(15.2%)、「月に1~2回は利用したい」(28.4%)と、利用希望は43.6%となっている。一方、「利用する必要はない」は55.3%となっている
- 土曜日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(53.3%)が最も多く、以下「7時台」(23.1%)、「9時台」(20.0%)の順になっており、終了時間は「17時台」(36.4%)が最も多く、以下「18時台」(27.2%)、「16時台」(16.4%)となっている。

【就学前児童 問18】

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

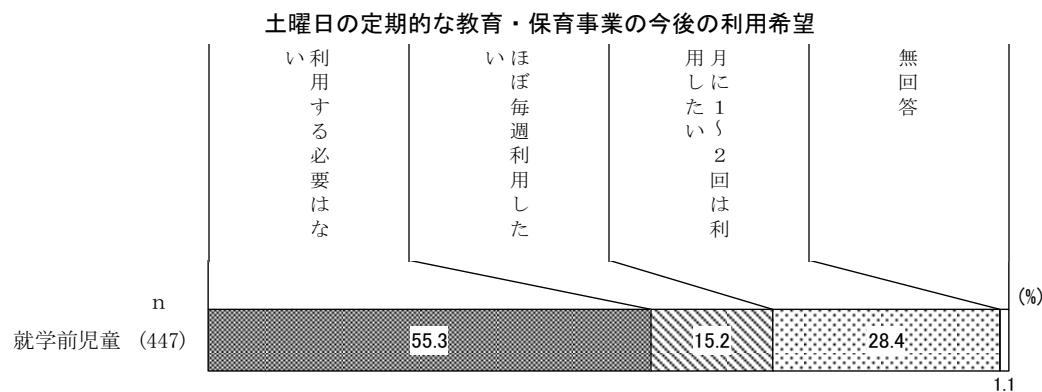
((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

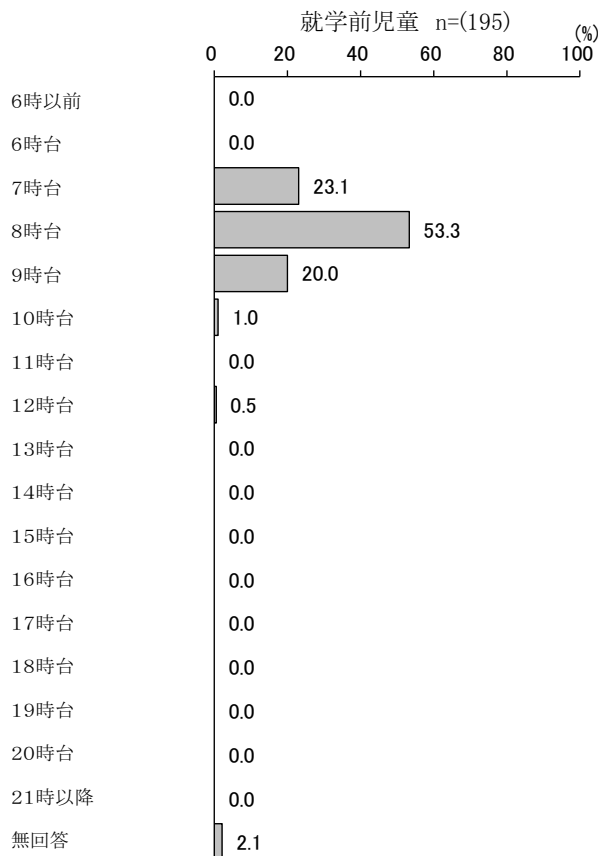
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

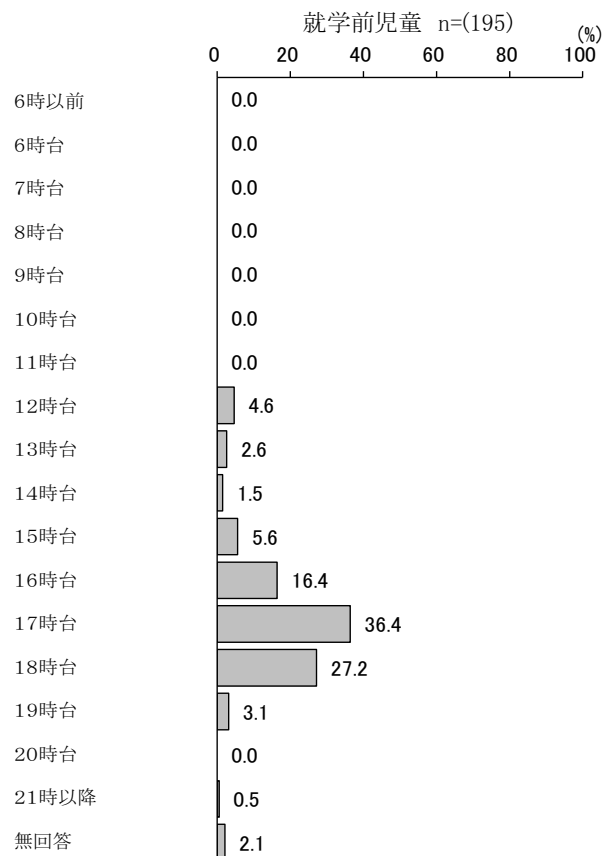
(1) 土曜日



土曜日の希望開始時間

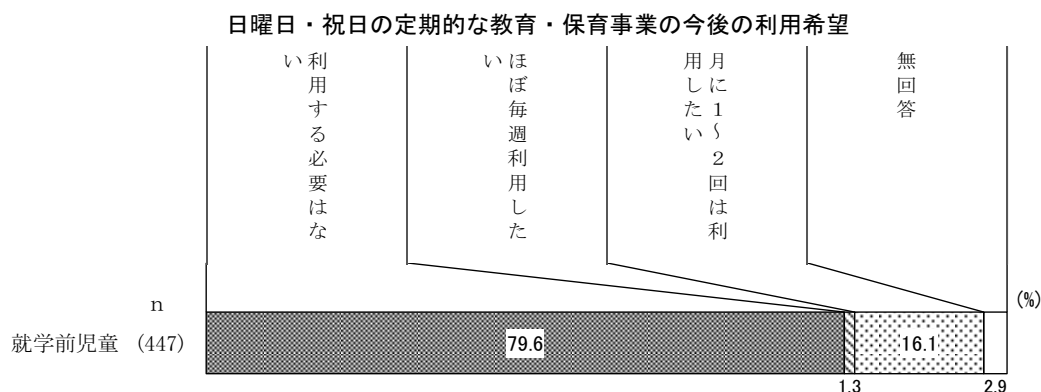


土曜日の希望終了時間

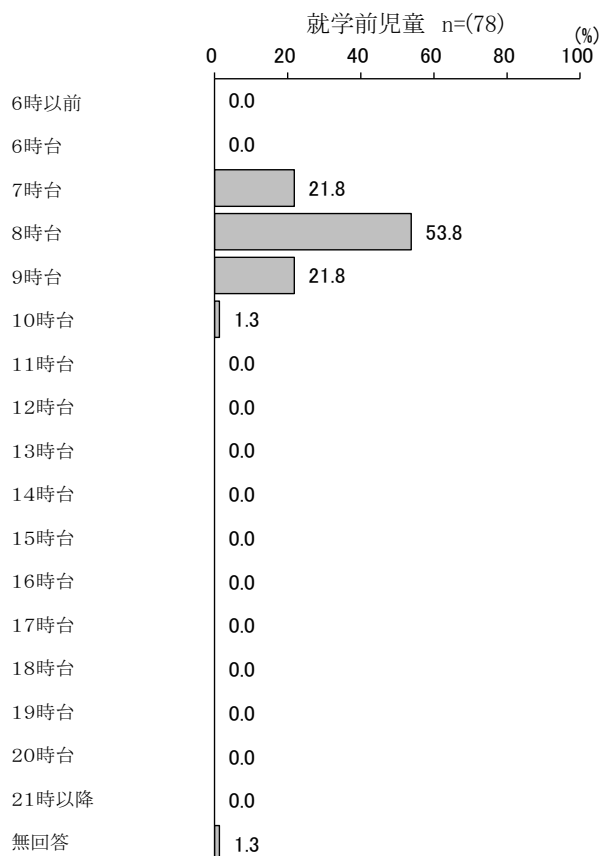


- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(1.3%)、「月に1～2回は利用したい」(16.1%)と、利用希望は17.4%と土曜日に比べ大きく減少する。
- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(53.8%)が最も多く、以下「7時台」「9時台」(ともに21.8%)の順になっており、希望終了時間は「17時台」(39.7%)、「18時台」(35.9%)がともに多くなっている。

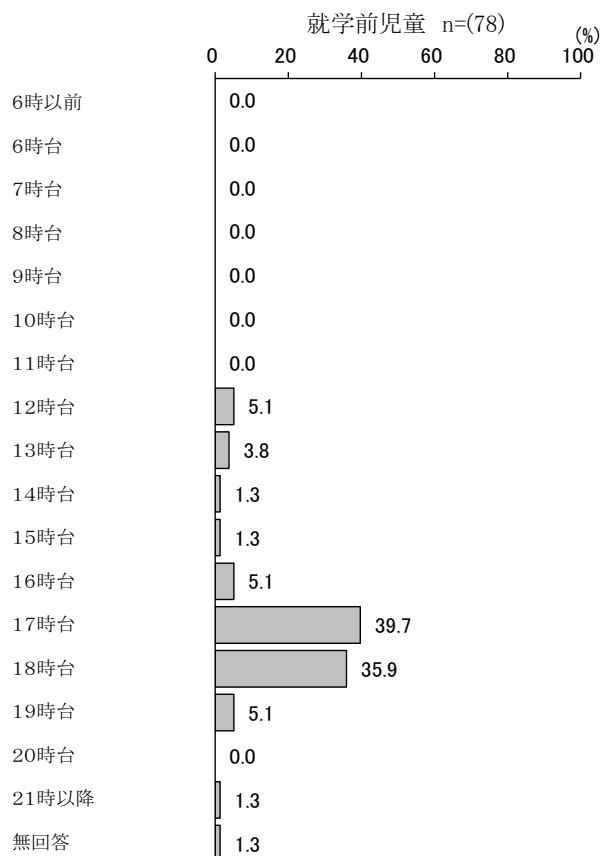
(2) 日曜日・祝日



日曜日・祝日の希望開始時間



日曜日・祝日の希望終了時間



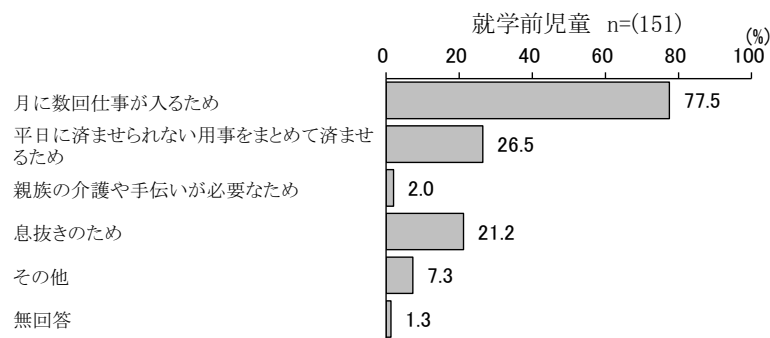
○土曜日、日曜日・祝日に月に1～2回利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(77.5%)が最も多く、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(26.5%)、「息抜きのため」(21.2%)の順になっている。

【就学前児童 問18-1】

問18の(1)土曜日もしくは(2)日曜日・祝日で、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

土曜日、日曜日・祝日に月に1～2回利用したい理由



○幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(50.8%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(23.0%)と、利用希望は73.8%となっている。

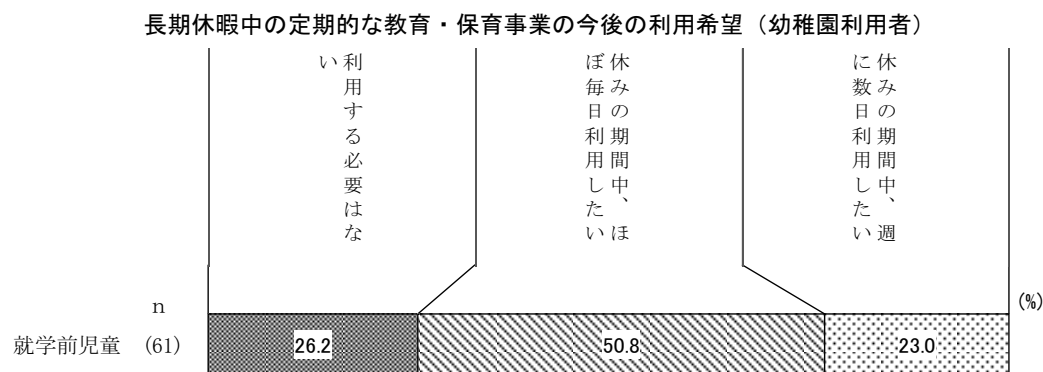
○幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(60.0%)、「9時台」(20.0%)、「7時台」(15.6%)の順となっており、希望終了時間は「17時台」(46.7%)が最も多く、以下「16時台」(20.0%)、「18時台」(15.6%)となっている。

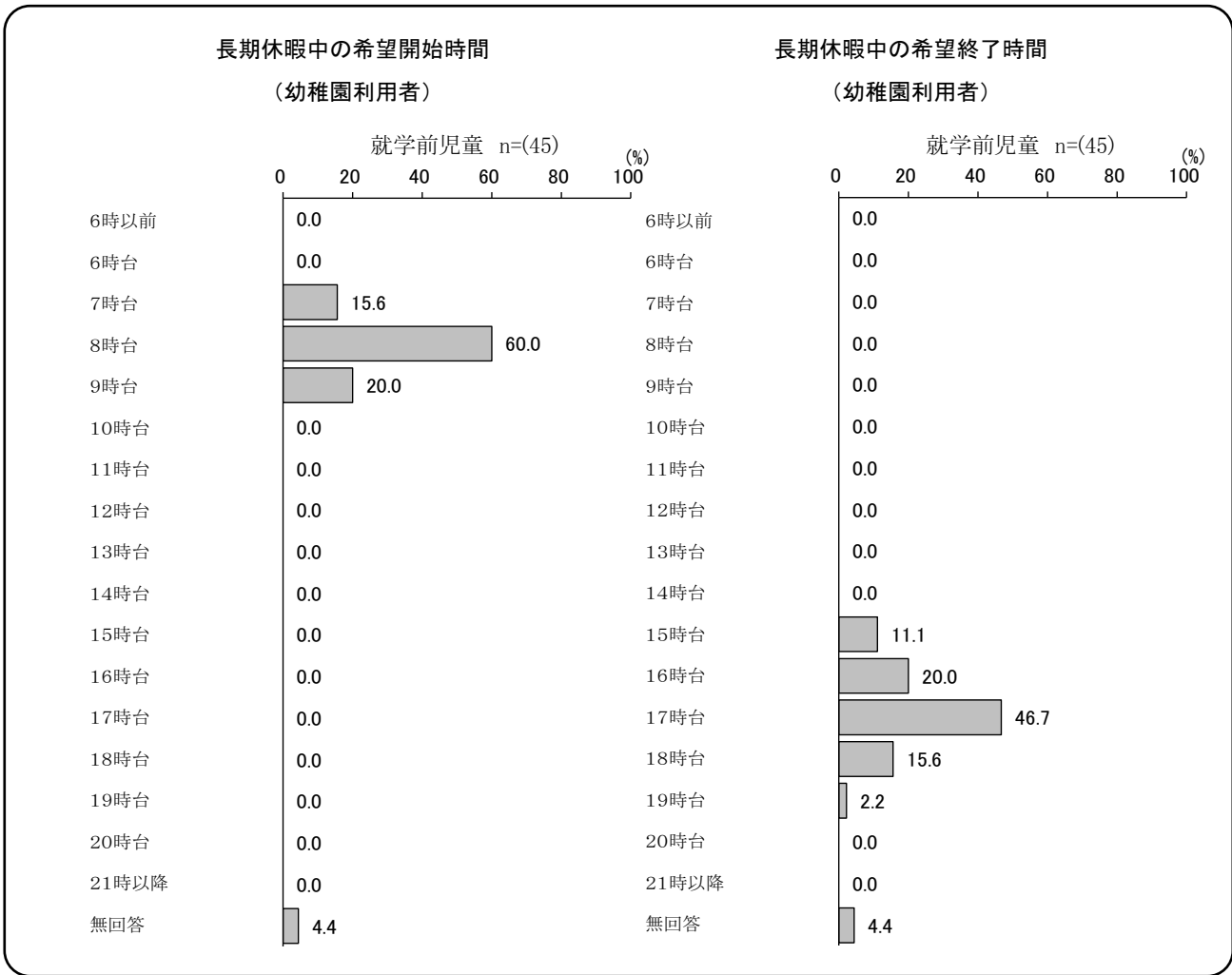
【就学前児童 問19】

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

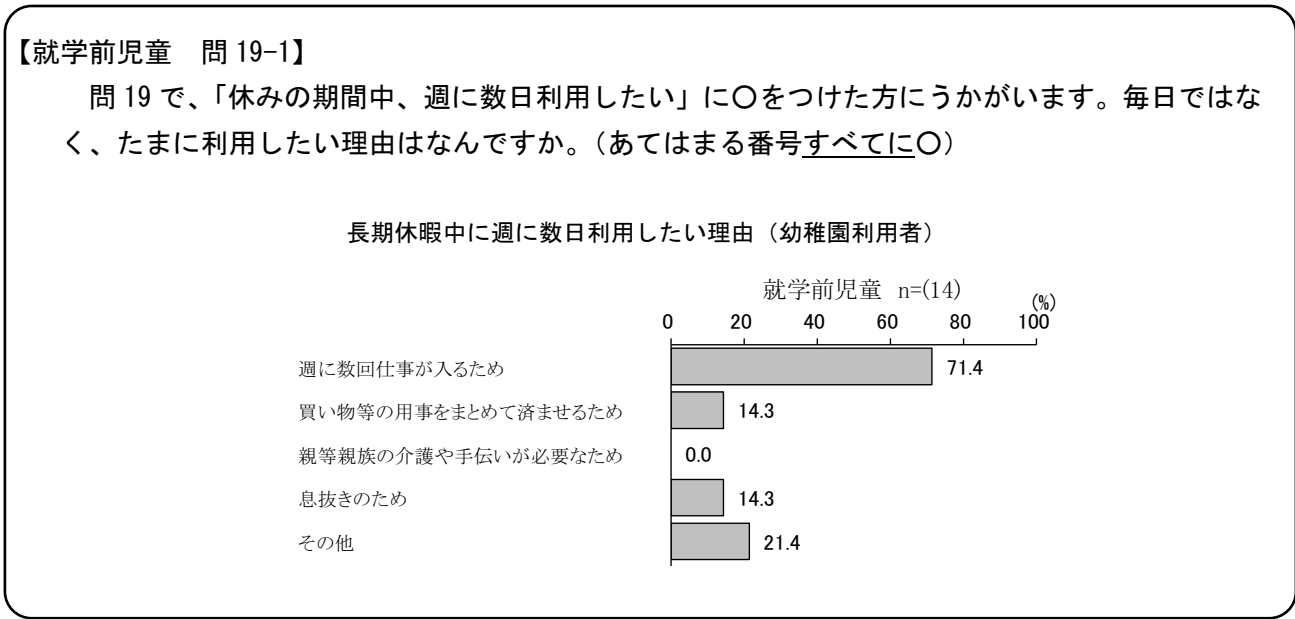
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。





○長期休暇中に週に数日利用したい理由をみると、「週に数回仕事が入るため」(71.4%)が最も多く、以下「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」(ともに14.3%)の順になっている。



2. 地域の子育て支援事業の現在の利用状況と今後の利用希望について

(1) 地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況と今後の利用希望

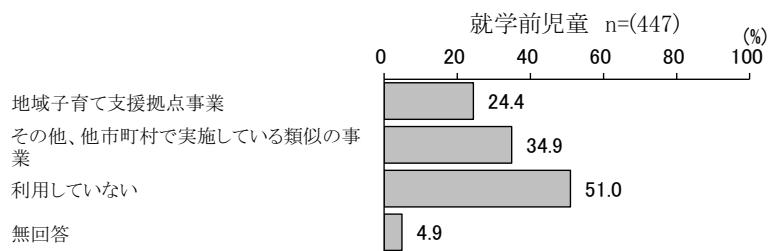
○地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況をみると、「その他、他市町村で実施している類似の事業」(34.9%)が「地域子育て支援拠点事業」(24.4%)を上回っている。なお、「利用していない」は51.0%と最も多くなっている。

【就学前児童 問16】

宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（次の中から、利用されているものすべてに○）

※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況



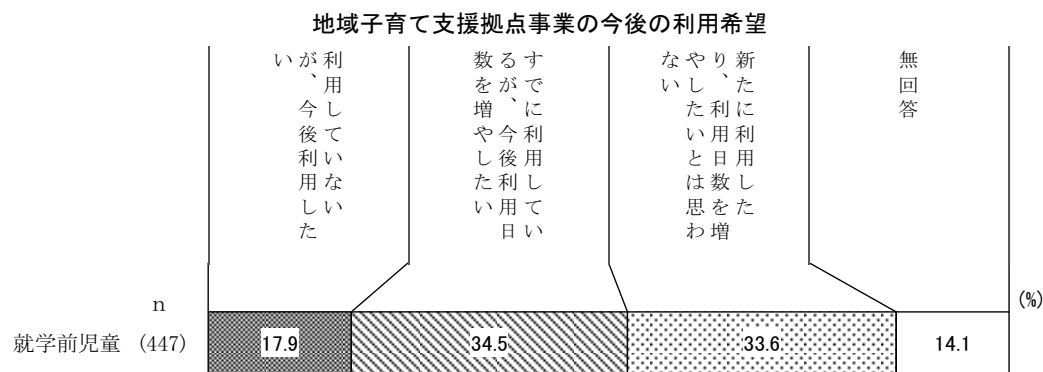
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」は17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は34.5%となっている。

【就学前児童 問17】

問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(自治体における料金設定を示す)



(2) 病児・病後児保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

○病気やケガで、平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無をみると、「あった」は就学前児童で74.7%、小学生で53.8%であり、子どもの成長に伴い減少している。

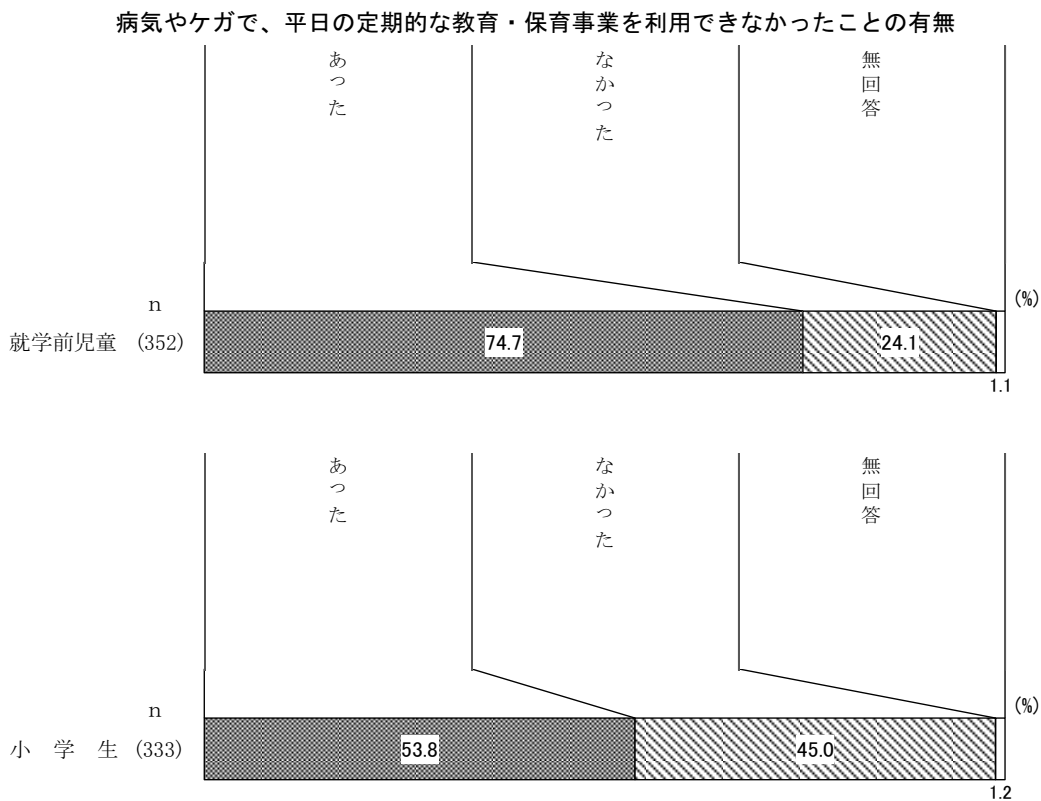
【就学前児童 問20】

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問14で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問21にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

【小学生 問16】

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校に行けなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）



○この1年間の対処方法をみると、「母親が休んだ」(就学前児童 86.3%・小学生 70.9%)が圧倒的に多く、以下「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(就学前児童 45.6%・小学生 40.2%)、「父親が休んだ」(就学前児童 36.1%・小学生 23.5%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(就学前児童 8.0%・小学生 9.5%)の順に多くなっている。

【就学前児童 問20-1】

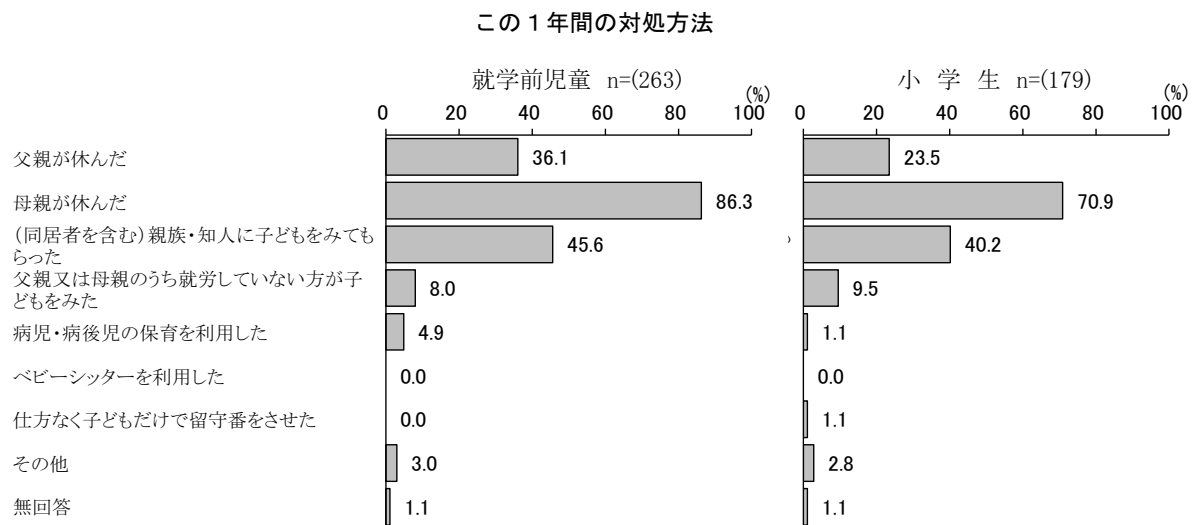
宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

【小学生 問16-1】

宛名のお子さんが病気やけがで小学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)



○父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は就学前児童では29.7%、小学生では13.5%にとどまっている。
 ○年齢別（3区分）にみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、0歳では36.1%、1～2歳では38.8%となっており、3～5歳に比べてやや多くなっている。

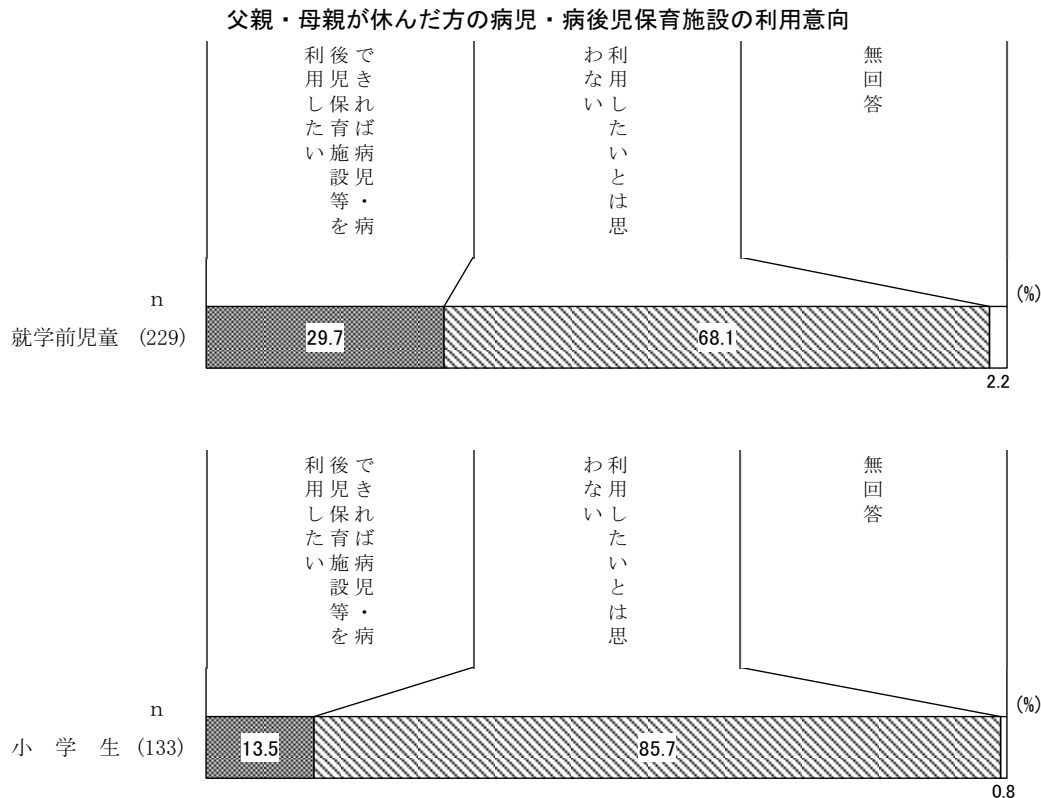
【就学前児童 問20-2】【小学生 問16-2】

問20-1（小学生 問16-1）で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（あてはまる番号1つに○）

※日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



<年齢別>

	調査数	施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	229	68	156	5
	100.0	29.7	68.1	2.2
年齢別				
0歳	36	13	23	0
	100.0	36.1	63.9	0.0
1歳	39	18	20	1
	100.0	46.2	51.3	2.6
2歳	46	15	28	3
	100.0	32.6	60.9	6.5
3歳	36	5	31	0
	100.0	13.9	86.1	0.0
4歳	34	10	23	1
	100.0	29.4	67.6	2.9
5歳	31	6	25	0
	100.0	19.4	80.6	0.0
年齢別（3区分）				
0歳	36	13	23	0
	100.0	36.1	63.9	0.0
1～2歳	85	33	48	4
	100.0	38.8	56.5	4.7
3～5歳	101	21	79	1
	100.0	20.8	78.2	1.0

<学年別>

	調査数	施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	133	18	114	1
	100.0	13.5	85.7	0.8
学年別				
1年生	41	6	34	1
	100.0	14.6	82.9	2.4
2年生	54	9	45	0
	100.0	16.7	83.3	0.0
3年生	29	3	26	0
	100.0	10.3	89.7	0.0

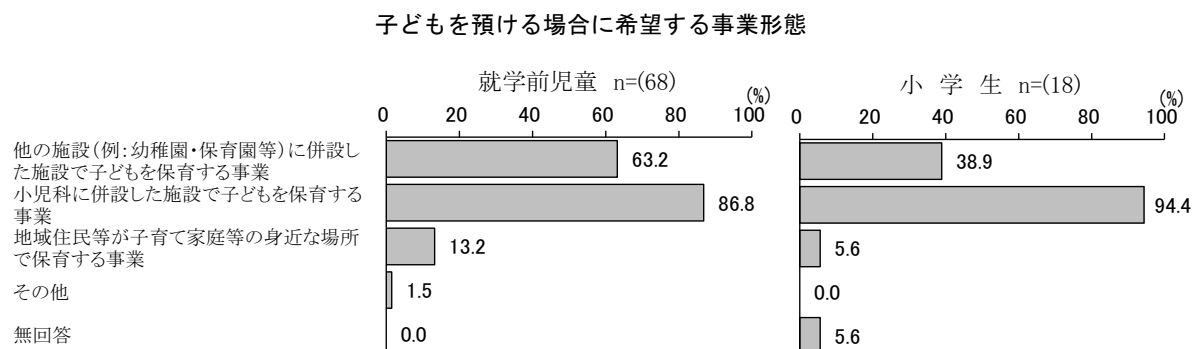
○子どもを預ける場合に希望する事業形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 86.8%・小学生 94.4%）が圧倒的に多く、以下「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 63.2%・小学生 38.9%）となっている。

【就学前児童 問20-3】【小学生 問16-3】

問20-2（小学生 問16-2）で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

（あてはまる番号すべてに○）

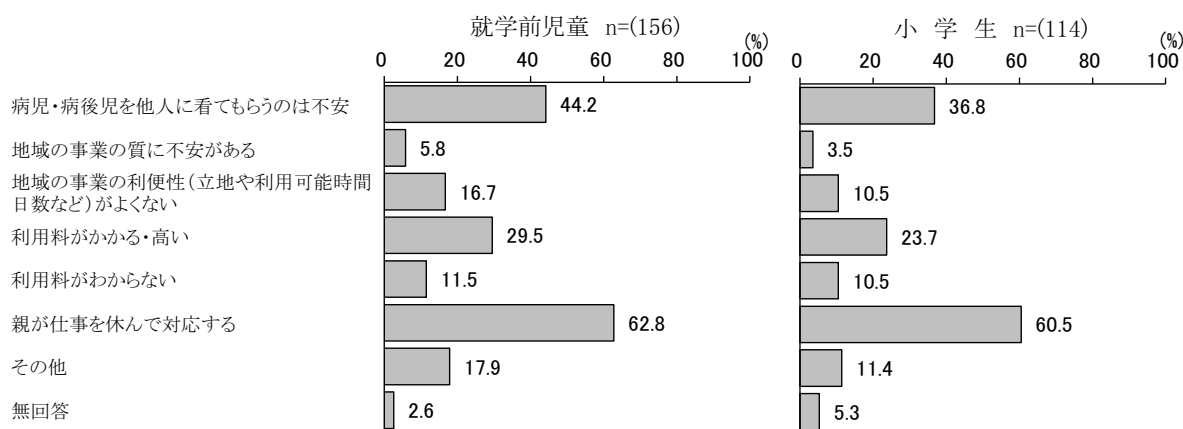


○病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休んで対応する」(就学前児童 62.8%・小学生 60.5%) が最も多く、以下「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(就学前児童 44.2%・小学生 36.8%)、「利用料がかかる・高い」(就学前児童 29.5%・小学生 23.7%) の順に多くなっている。

【就学前児童 問 20-4】【小学生 問 16-4】

問 20-2 (小学生 問 16-2) で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由



○父母が休む以外の対処方法を選んだ方について、父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看ることへの考えをみると、就学前児童では60.5%、小学生では47.4%の方が「できれば仕事を休んで看たい」と回答している。

【就学前児童 問 20-5】【小学生 問 16-5】

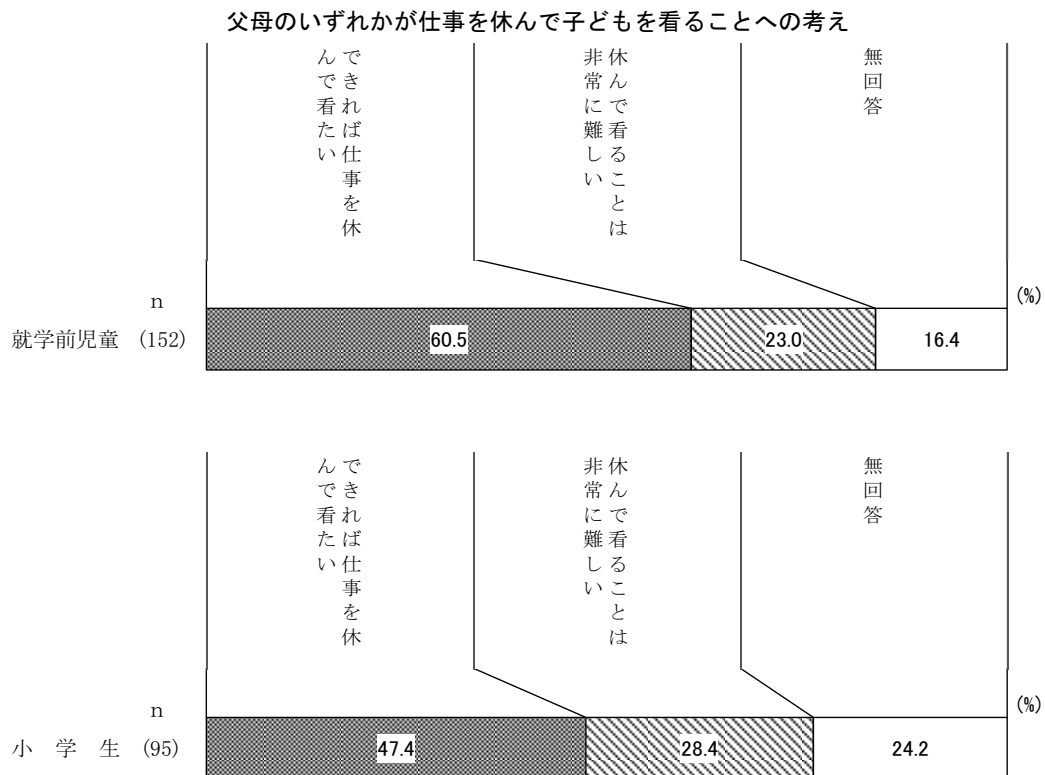
問 20-1（小学生 問 16-1）で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに回答した方
にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

（あてはまる番号 1 つに○）

※「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字で
ご記入ください（数字は一桁に一字）。

※1年間でお考えください。

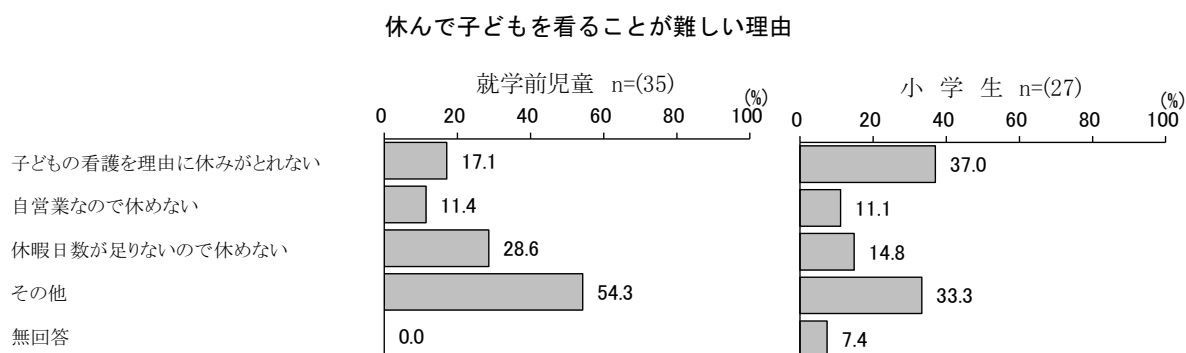


○休んで子どもを見ることは非常に難しい方は約4人に1人が該当しており、休んで子どもを見るのが難しい理由をみると、就学前児童では「休暇日数が足りないので休めない」(28.6%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(17.1%)、「自営業なので休めない」(11.4%)の順になっている。一方、小学生では「子どもの看護を理由に休みがとれない」(37.0%)、「休暇日数が足りないので休めない」(14.8%)、「自営業なので休めない」(11.1%)の順になっている。「その他」(就学前児童 54.3%・小学生 33.3%)の内容としては、「人員不足で休みが取りづらい」「職場に負担がかかる」「休みはもらえるが、気を使う」「仕事がたまってしまう」などとなっており、休めないことはないが、非常に休みにくい状況であることがうかがえる。

【就学前児童 問 20-6】【小学生 問 16-6】

問 20-5 (小学生問 16-5) で「休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



(3) 不特定の教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

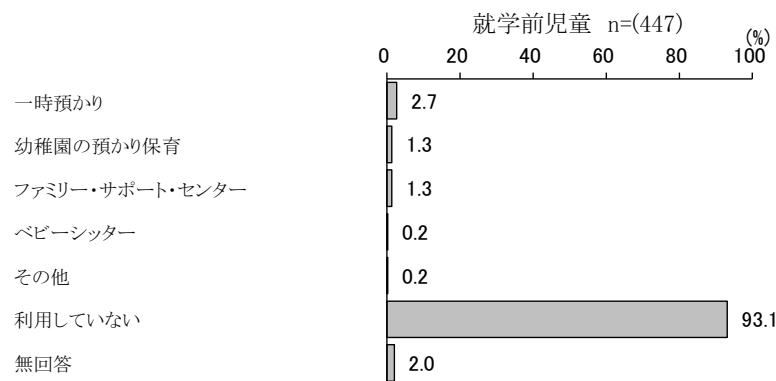
○不特定の教育・保育事業の現在の利用状況をみると、「利用していない」が93.1%となっており、利用している事業として最も多い「一時預かり」でも2.7%にとどまっている。

【就学前児童 問21】

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

不特定の教育・保育事業の現在の利用状況



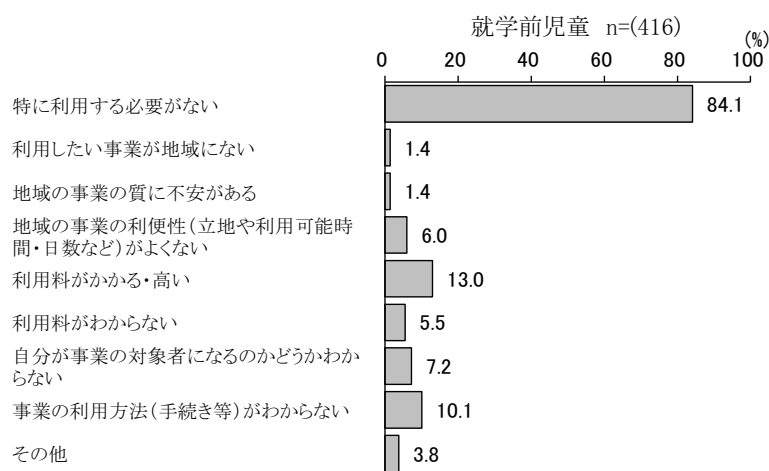
○不定期の教育・保育事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」(84.1%)が圧倒的だが、以下「利用料がかかる・高い」(13.0%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(10.1%)などとなっており、改めての周知や配慮が必要なケースもみられる。

【就学前児童 問21-1】

問21で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

不定期の教育・保育事業を利用していない理由



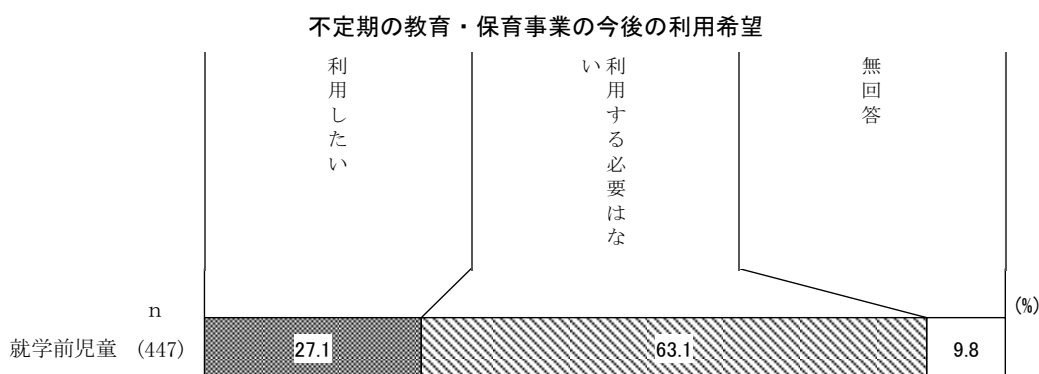
- 不特定の教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「利用したい」は27.1%となっている。
- 年齢別（3区分）にみると、0歳では「利用したい」が31.4%と他の年齢に比べてやや多くなっている。
- 利用希望がある方の不特定の教育・保育事業を今後利用する目的をみると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（ともに57.0%）が多く、以下「不特定の就労」（42.1%）となっている。

【就学前児童 問22】

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。

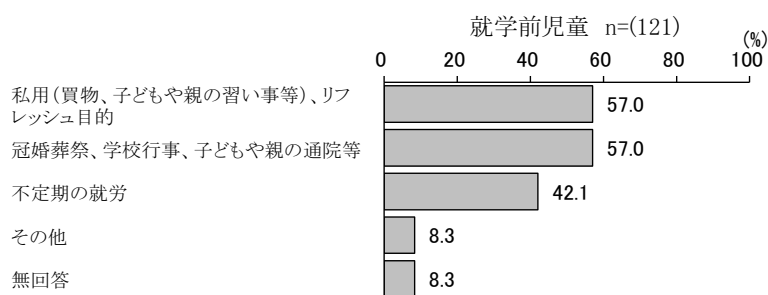
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



<年齢別>

	調査数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	447	121	282	44
	100.0	27.1	63.1	9.8
年齢別				
0歳	102	32	60	10
	100.0	31.4	58.8	9.8
1歳	70	18	45	7
	100.0	25.7	64.3	10.0
2歳	71	16	49	6
	100.0	22.5	69.0	8.5
3歳	65	23	39	3
	100.0	35.4	60.0	4.6
4歳	69	22	40	7
	100.0	31.9	58.0	10.1
5歳	59	8	44	7
	100.0	13.6	74.6	11.9
年齢別（3区分）				
0歳	102	32	60	10
	100.0	31.4	58.8	9.8
1～2歳	141	34	94	13
	100.0	24.1	66.7	9.2
3～5歳	193	53	123	17
	100.0	27.5	63.7	8.8

不定期の教育・保育事業を今後利用する目的

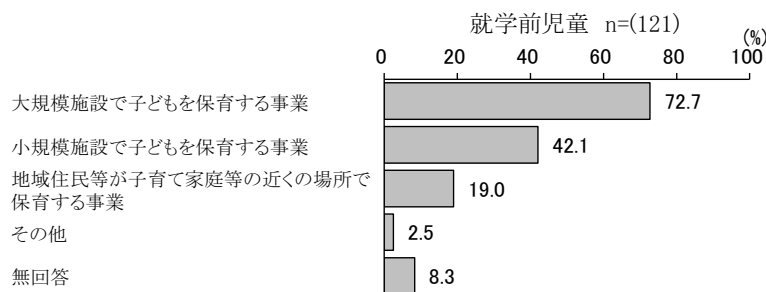


○子どもを預ける場合に希望する事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(72.7%)が最も多く、以下「小規模施設で子どもを保育する事業」(42.1%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(19.0%)となっている。

【就学前児童 問 22-1】

問 22 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

子どもを預ける場合に希望する事業形態



(4) 宿泊を伴う一時保育事業の現在の利用状況

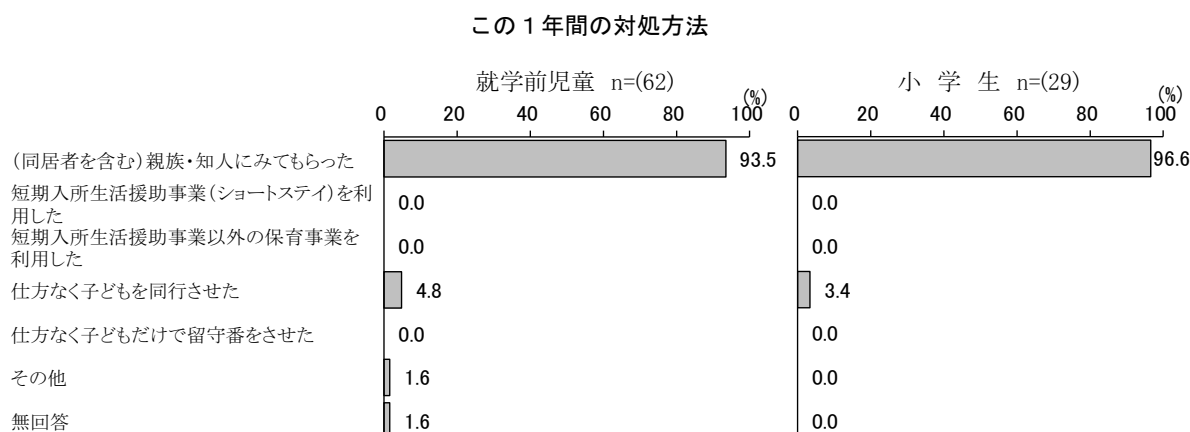
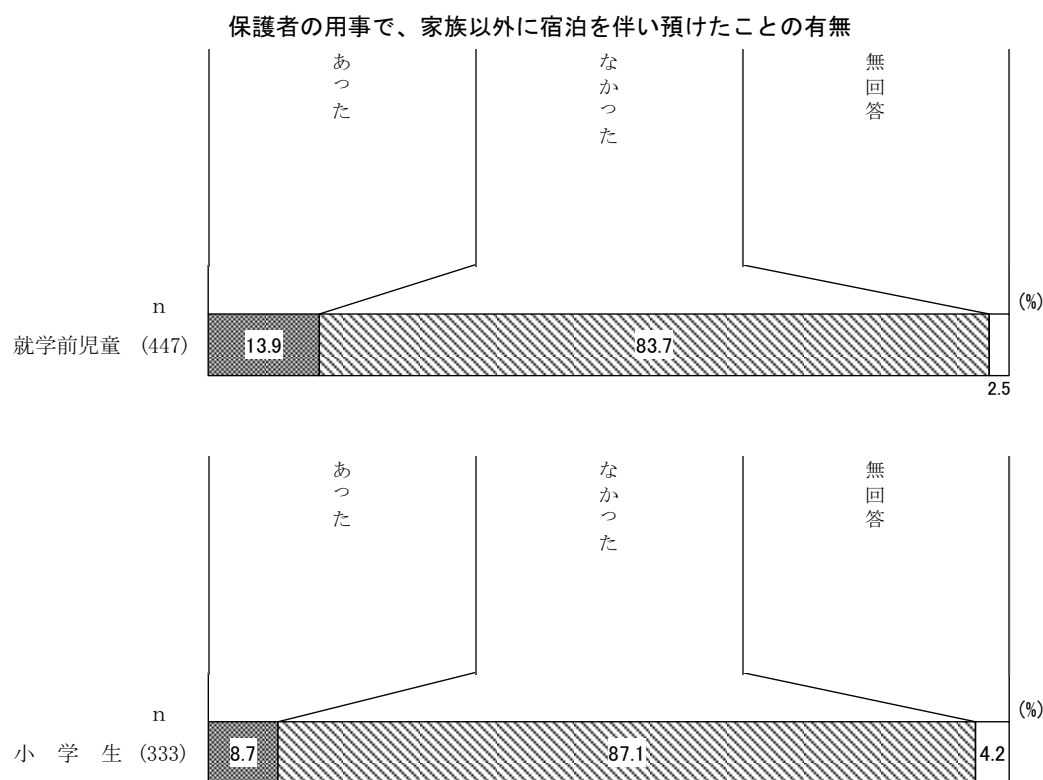
○保護者の用事で、家族以外に宿泊を伴い預けたことの有無をみると、就学前児童では13.9%、小学生では8.7%が「あった」と回答している。

○この1年間の対処方法をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(就学前児童93.5%・小学生96.6%)が圧倒的であるが、「仕方なく子どもを同行させた」(就学前児童4.8%・小学生3.4%)ケースも出ている。

【就学前児童 問23】【小学生 問17】

この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

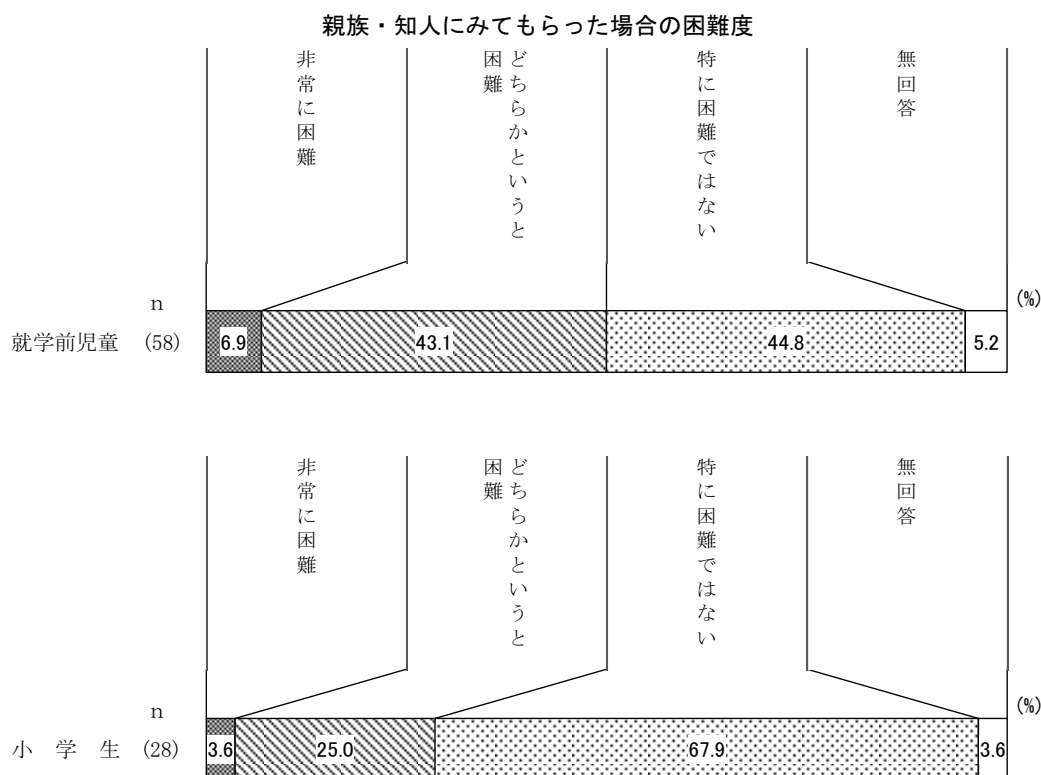


○親族・知人にみてもらった場合の困難度をみると、「特に困難ではない」（就学前児童 44.8%、小学生 67.9%）は年齢が上がるほど多くなっており、預けやすくなっていることがうかがえる。その一方、「非常に困難」（就学前児童 6.9%・小学生 3.6%）は就学前児童が上回っており、親族・知人にみてもらうことも容易でない方が一定数いることがわかる。

【就学前児童 問 23-1】【小学生 問 17-1】

問 23（小学生 問 17）で「あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号 1 つに○）



3. 放課後の過ごし方について

(1) 就学前児童の小学校就学後の平日の放課後の過ごし方の今後の希望

- 5歳以上の就学前児童の小学校入学後の平日の放課後の過ごし方の今後の希望をみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(61.0%)、「自宅」(50.8%)がともに多く、次いで「習い事」(27.1%)、以下「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」(8.5%)の順になっている。
- 平日の放課後の過ごし方の希望日数(1週当たり)をみると、放課後児童クラブ〔学童保育〕では「5日」(低学年時(1～3年生)80.6%・高学年時(4～6年生)30.6%)が最も多いが、高学年時(4～6年生)では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の下校時間からの希望終了時間をみると、「17時台」(低学年時(1～3年生)38.9%・高学年時(4～6年生)22.2%)、「18時台」(低学年時(1～3年生)44.4%・高学年時(4～6年生)16.7%)がともに多くなっているが、高学年時(4～6年生)では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。

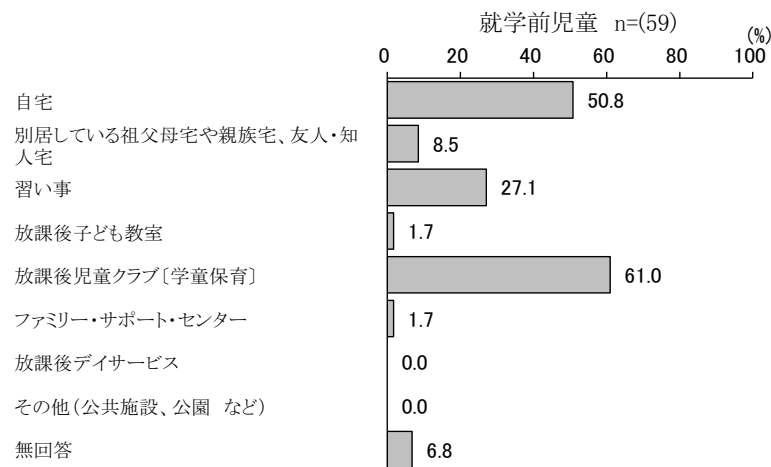
【就学前児童 問24】

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

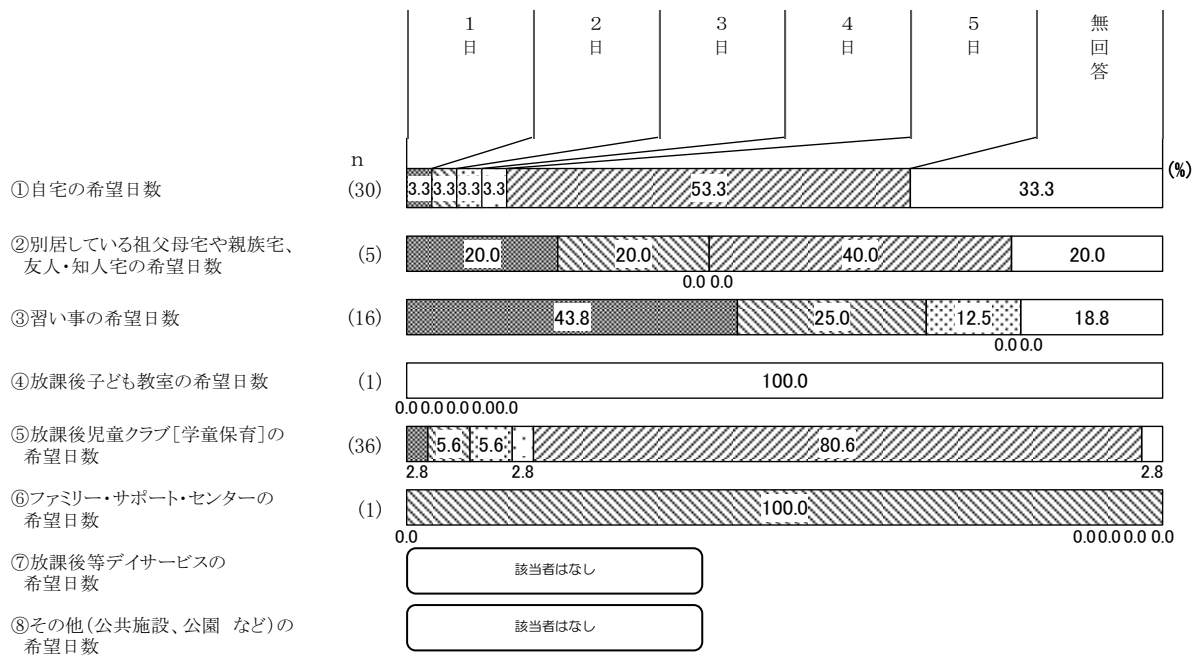
宛名のお子さんについて、小学校に入学した後、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

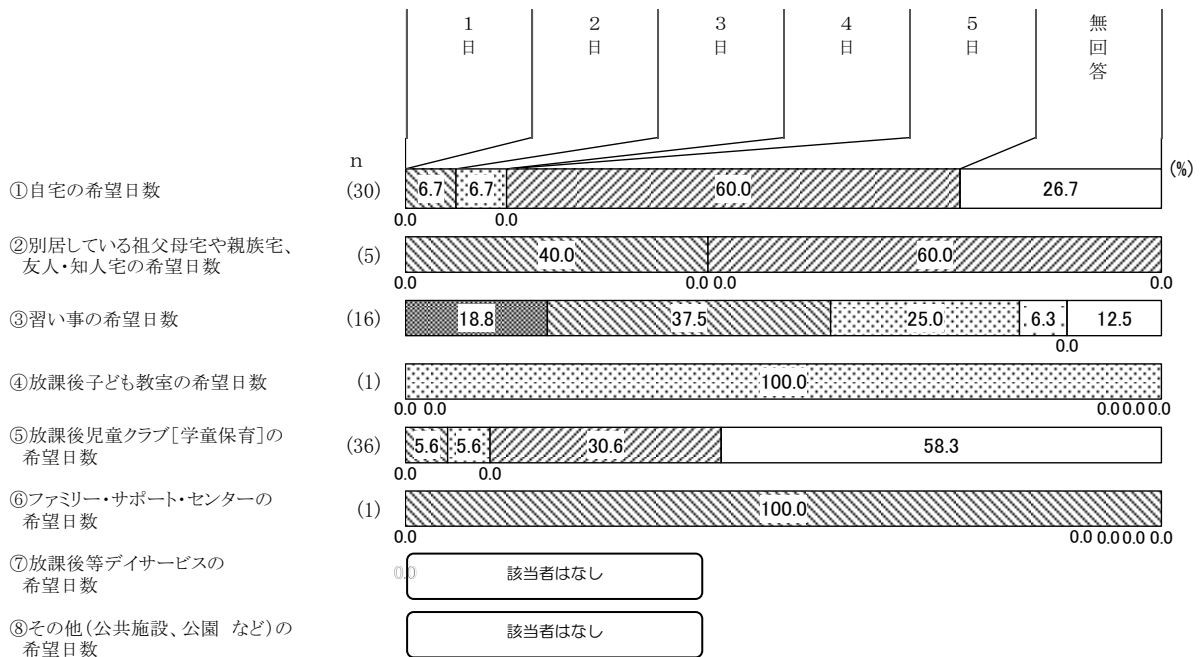
平日の放課後の過ごし方の今後の希望



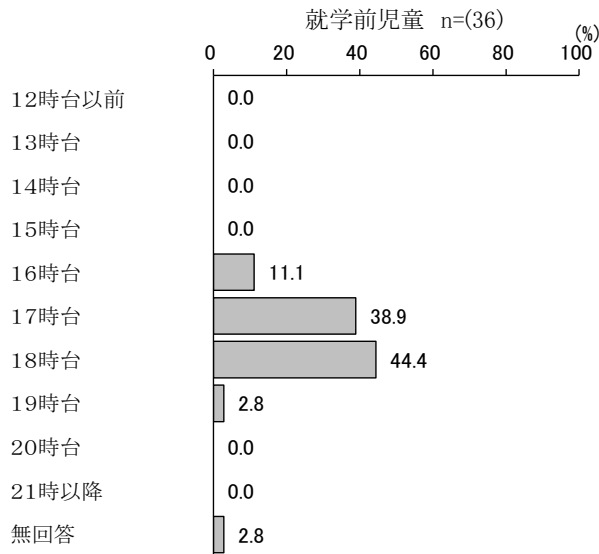
平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[低学年時（1～3年生）]



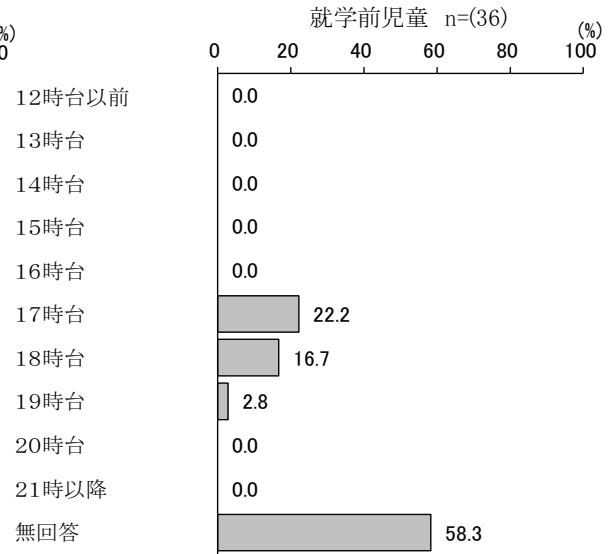
平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[高学年時（4～6年生）]



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔低学年時（1～3年生）〕



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔高学年時（4～6年生）〕



(2) 小学生の平日の放課後の過ごし方の現状と今後の希望

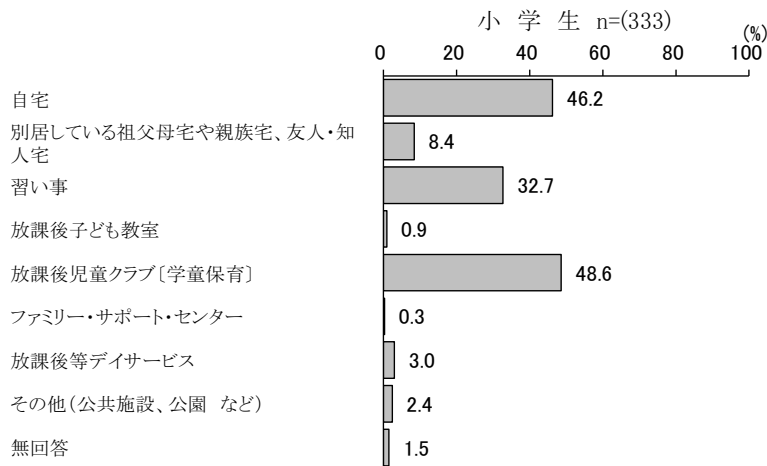
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の現状をみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(48.6%)と「自宅」(46.2%)がともに多く、以下「習い事」(32.7%)、「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」(8.4%)となっている。
- 学年別にみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は学年が低いほど需要が高く、1年生では61.9%となっている。一方、3年生になると38.8%と減少し、かわって「自宅」、「習い事」が多くなっている。
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の利用日数(1週当たり)をみると、「5日」は放課後等デイサービス(100.0%)、放課後児童クラブ〔学童保育〕(82.7%)が多くなっている。
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の下校時間からの利用終了時間をみると、「17時台」(56.8%)と「18時台」(34.6%)がともに多くなっている。

【小学生 問12】

宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

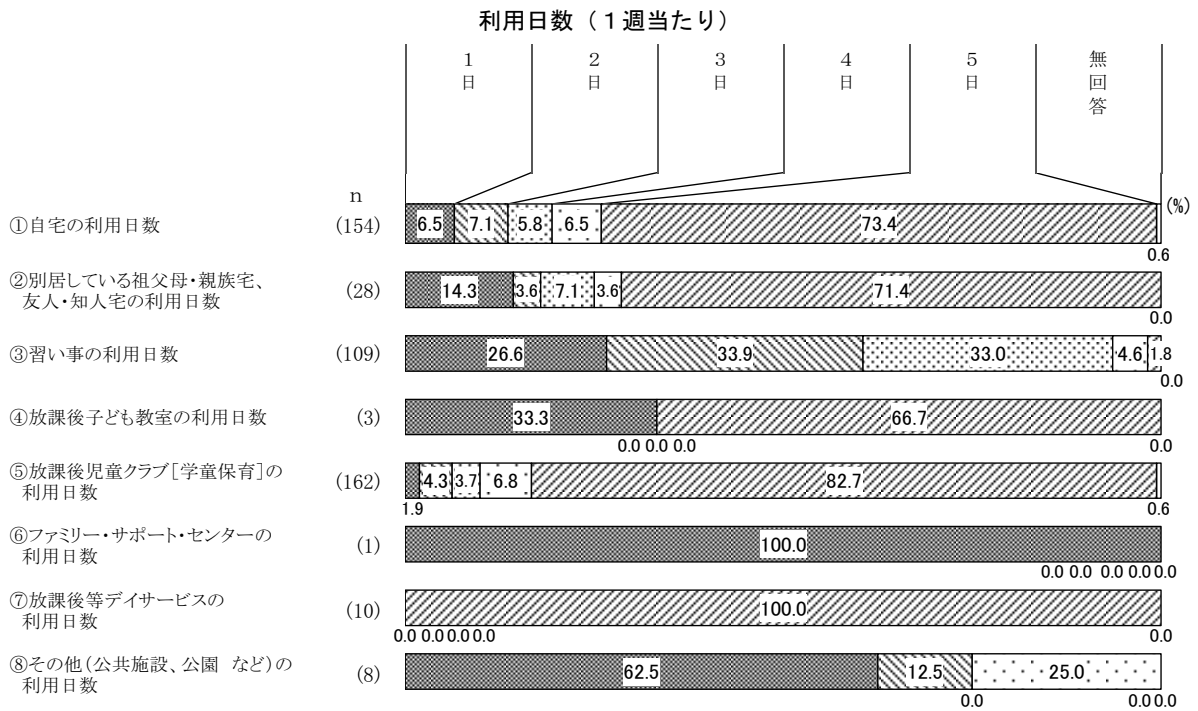
※それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

平日の放課後の過ごし方の現状

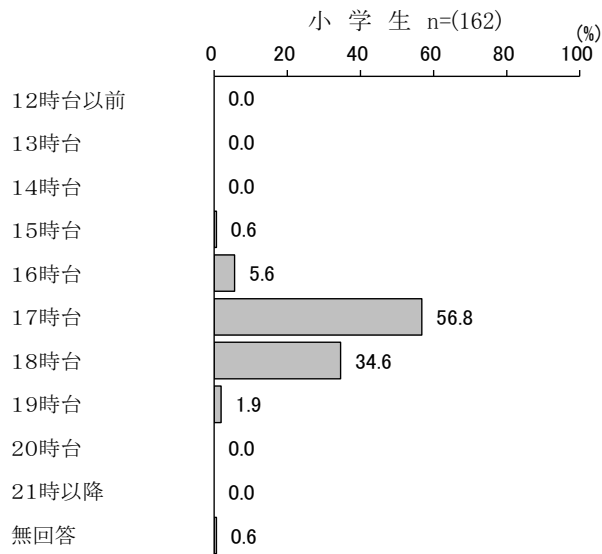


<学年別>

	調査数	自宅	別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	放課後児童クラブ〔学童保育〕	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公共施設、公園 など)	無回答
全体	333	154	28	109	3	162	1	10	8	5
	100.0	46.2	8.4	32.7	0.9	48.6	0.3	3.0	2.4	1.5
1年生	105	41	5	25	1	65	0	3	2	1
	100.0	39.0	4.8	23.8	1.0	61.9	0.0	2.9	1.9	1.0
2年生	125	62	11	44	1	55	1	5	0	1
	100.0	49.6	8.8	35.2	0.8	44.0	0.8	4.0	0.0	0.8
3年生	85	43	9	33	1	33	0	2	6	2
	100.0	50.6	10.6	38.8	1.2	38.8	0.0	2.4	7.1	2.4



放課後児童クラブ [学童保育] を選んだ方の下校時間からの利用終了時間



○地域の事業を利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」(57.8%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(27.3%)となっている。

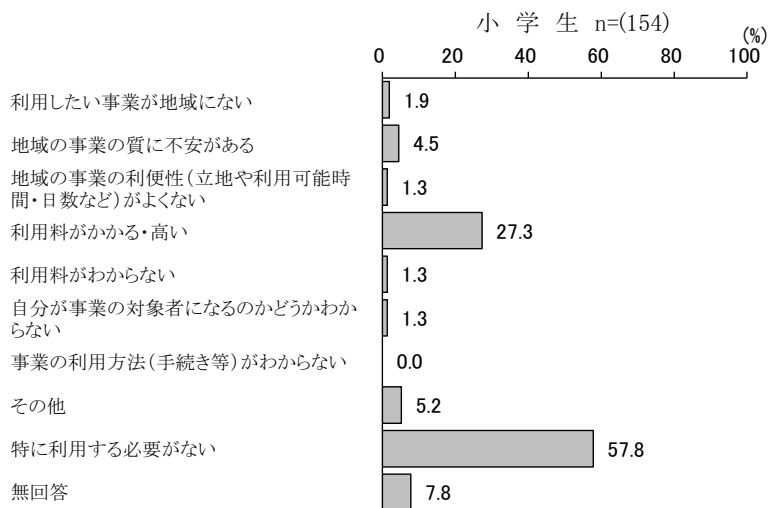
【小学生 問12-1】

問12で「自宅」「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」「習い事」または「その他(公共施設、公園 など)」に○をつけた(地域の事業を利用していない)方にうかがいます。

宛名のお子さんが「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ(学童保育)」、「ファミリー・サポート・センター」、「放課後等デイサービス」を現在利用していない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

地域の事業を利用していない理由



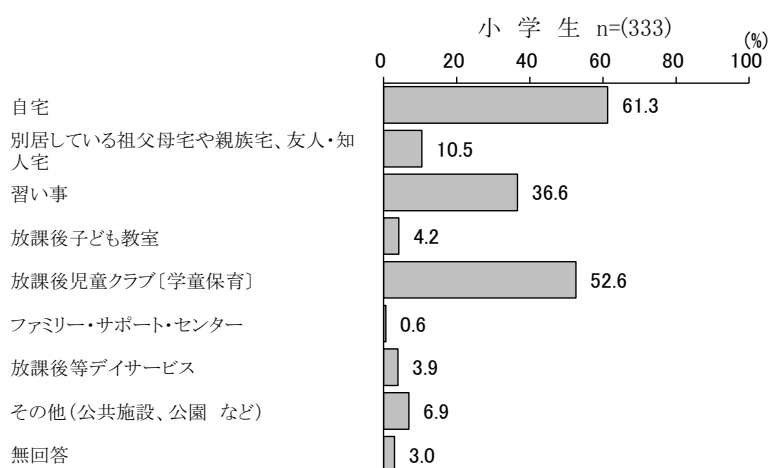
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の今後の希望をみると、順位は異なるものの現状と上位は同じ回答であり、「自宅」（現状 46.2%・希望 61.3%）、「放課後児童クラブ[学童保育]」（現状 48.6%・希望 52.6%）、「習い事」（現状 32.7%・希望 36.6%）が多くなっている。
- 学年別にみると、現状も希望も同様の傾向で「放課後児童クラブ[学童保育]」は学年が低いほど需要が高く、1年生では 64.8%となっている。一方、3年生になると 43.5%と減少し、かわって「自宅」、「習い事」の希望が多くなっている。
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）をみると、「5日」は低学年時（1～3年生）では放課後等デイサービス（84.6%）、放課後児童クラブ[学童保育]（79.4%）など預かりを兼ねた居場所がともに多く、以下別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅（51.4%）、自宅（45.6%）の順になっているが、高学年時（4～6年生）では自宅（55.9%）が最も多く、放課後等デイサービス（53.8%）、放課後児童クラブ[学童保育]（31.4%）を上回っている。一方、ファミリー・サポート・センターや放課後子ども教室は「1日」が多くなっている。
- 放課後児童クラブ[学童保育]を選んだ方の下校時間からの希望終了時間をみると、「17時台」（低学年時（1～3年生）50.9%・高学年時（4～6年生）23.4%）、「18時台」（低学年時（1～3年生）39.4%・高学年時（4～6年生）17.7%）がともに多くなっているが、高学年時（4～6年生）では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。

【小学生 問13】

宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

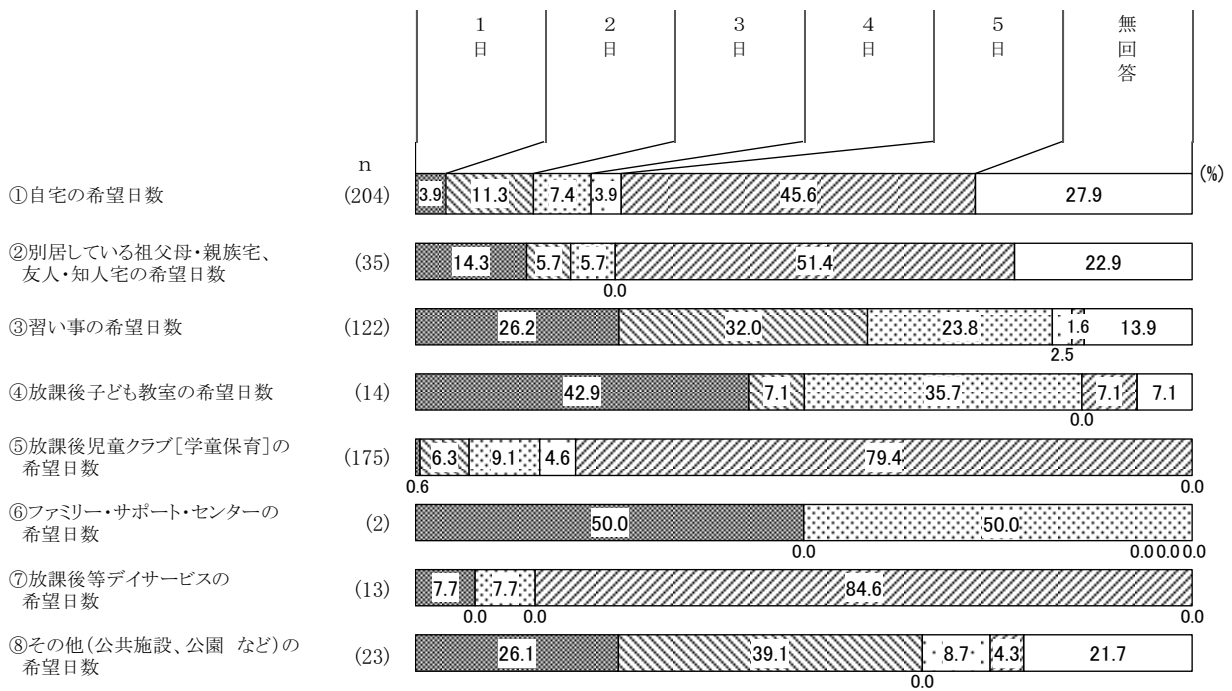
平日の放課後の過ごし方の今後の希望



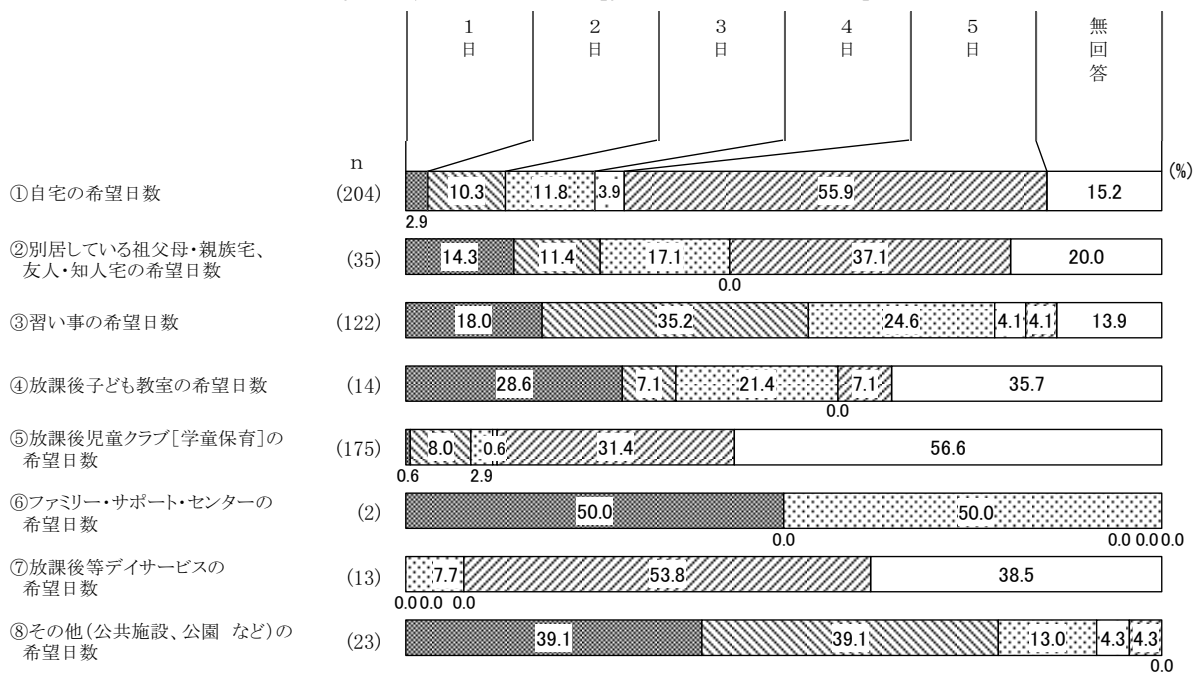
<学年別>

	調査数	自宅	別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	放課後児童クラブ〔学童保育〕	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公共施設、公園 など)	無回答
全体	333 100.0	204 61.3	35 10.5	122 36.6	14 4.2	175 52.6	2 0.6	13 3.9	23 6.9	10 3.0
学年別										
1年生	105 100.0	58 55.2	9 8.6	33 31.4	3 2.9	68 64.8	1 1.0	4 3.8	5 4.8	2 1.9
2年生	125 100.0	77 61.6	13 10.4	47 37.6	7 5.6	60 48.0	1 0.8	6 4.8	9 7.2	5 4.0
3年生	85 100.0	57 67.1	8 9.4	33 38.8	4 4.7	37 43.5	0 0.0	3 3.5	9 10.6	2 2.4

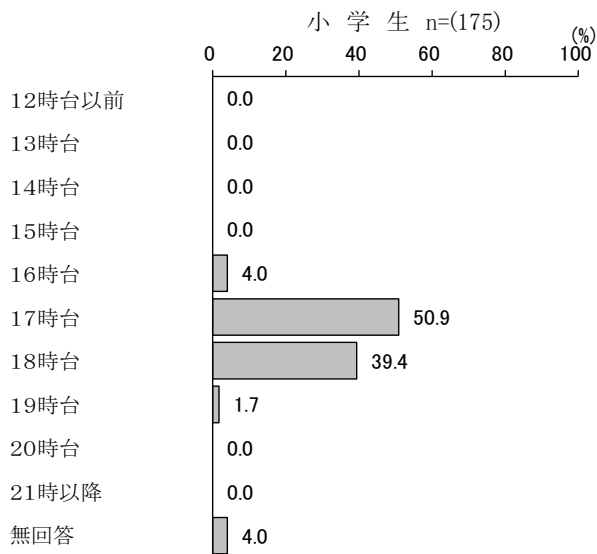
希望日数（1週当たり）[低学年時（1～3年生）]



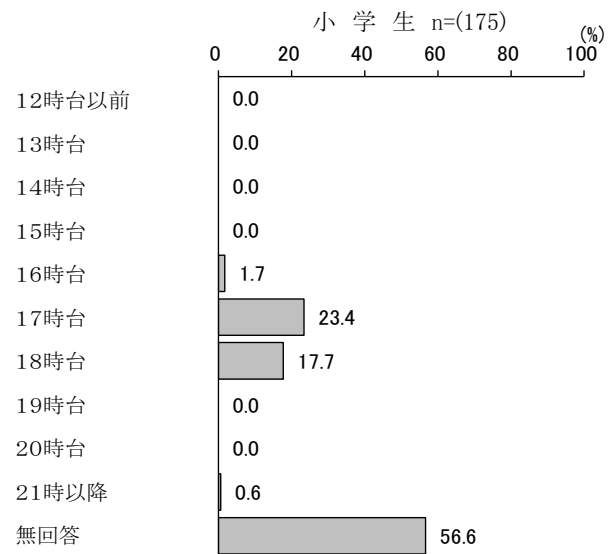
希望日数（1週当たり）[高学年時（4～6年生）]



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔低学年時（1～3年生）〕



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔高学年時（4～6年生）〕



(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの今後の利用希望

○土曜日の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、就学前児童では「利用する必要はない」(就学前児童 52.8%・小学生 64.0%)が最も多く「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(就学前児童 27.8%・小学生 13.7%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(就学前児童 16.7%・小学生 14.9%)を合わせた“利用したい”は就学前児童では44.5%、小学生では28.6%となっている。

○土曜日の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(就学前児童 50.0%・小学生 70.0%)が最も多く、希望終了時間は就学前児童では「18時台」(43.8%)が最も多く、以下「16時台」(25.0%)、「17時台」(18.8%)、小学生では「18時台」(44.0%)、「17時台」(34.0%)がともに多くなっている。

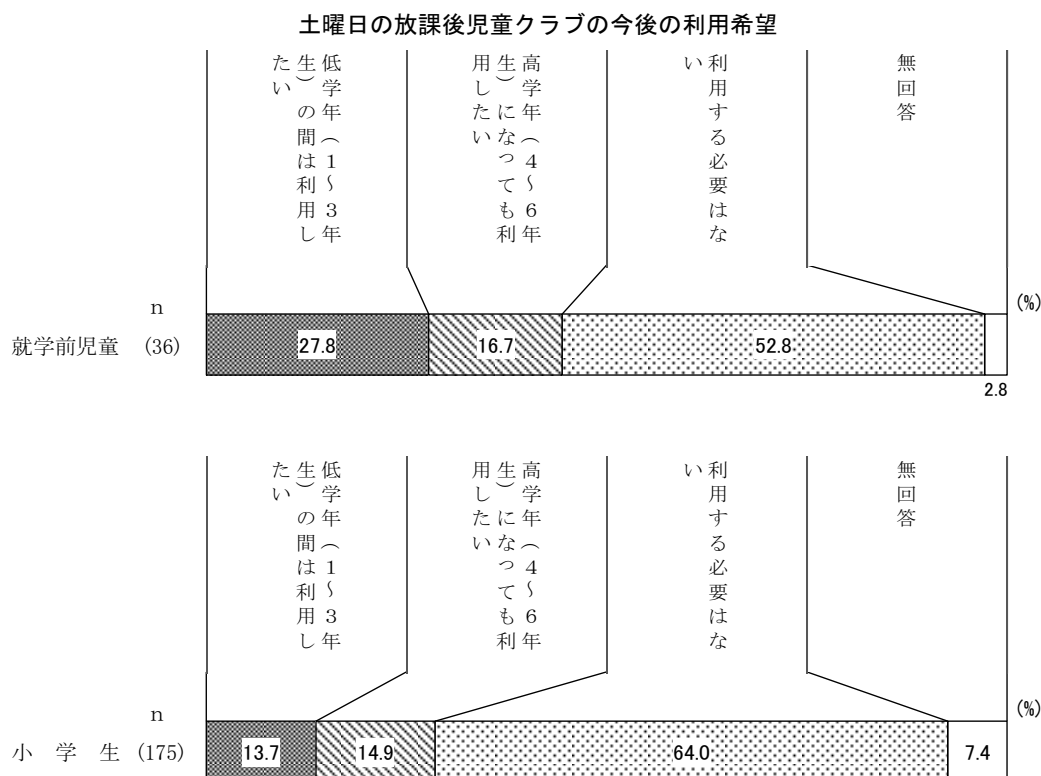
【就学前児童 問25】【小学生 問14】

問24(小学生 問13)で「放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

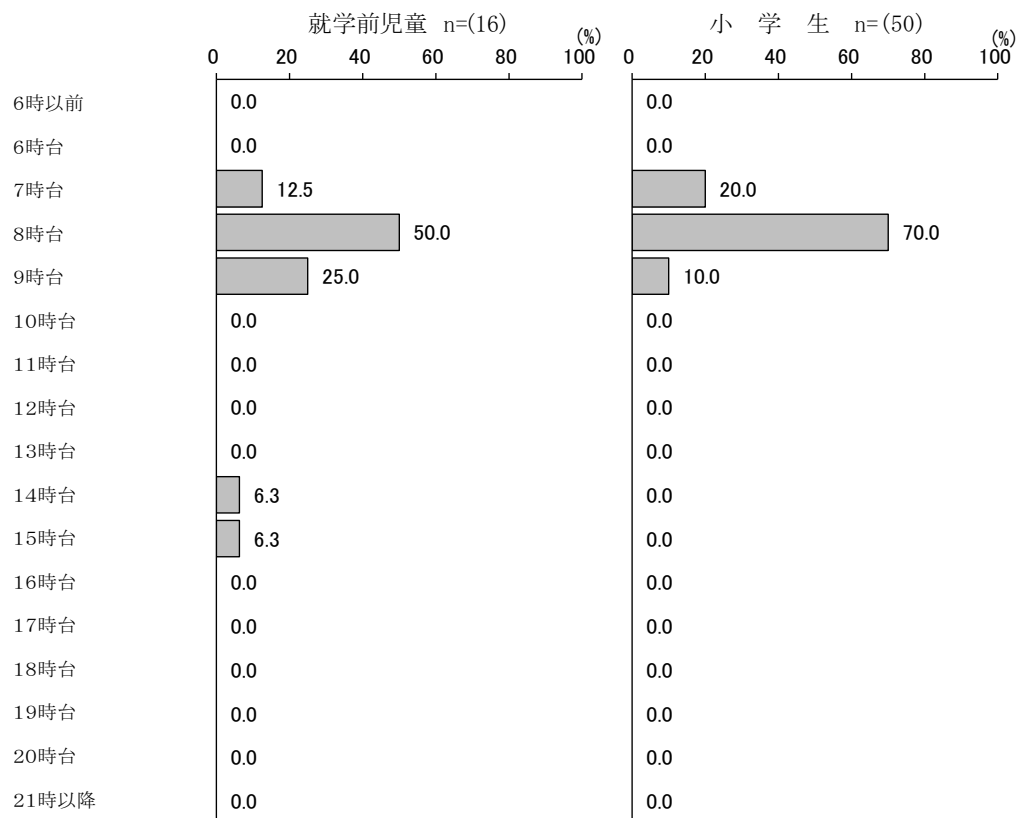
また、利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

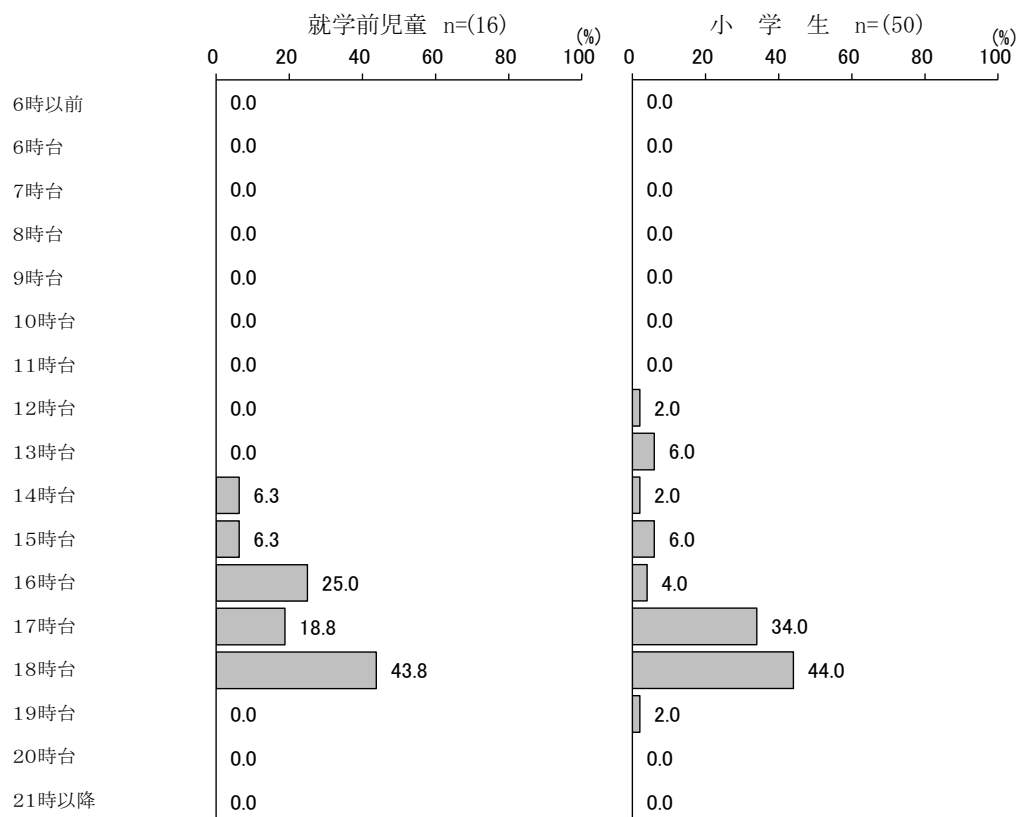
(1) 土曜日



土曜日の希望開始時間



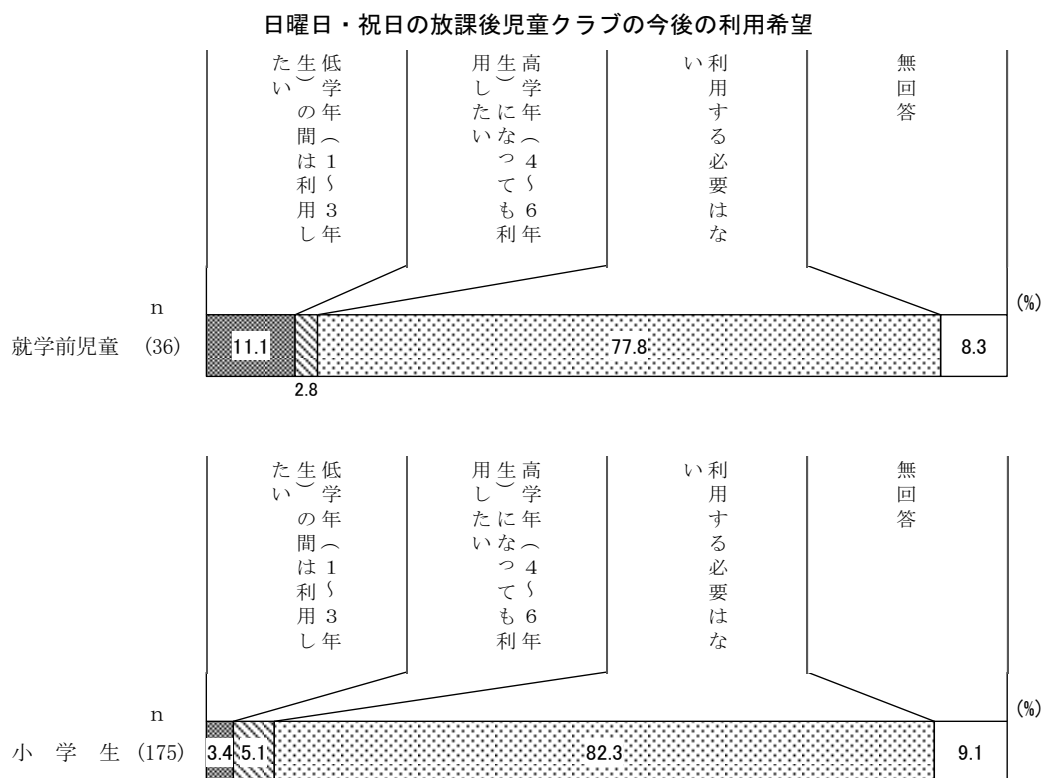
土曜日の希望終了時間



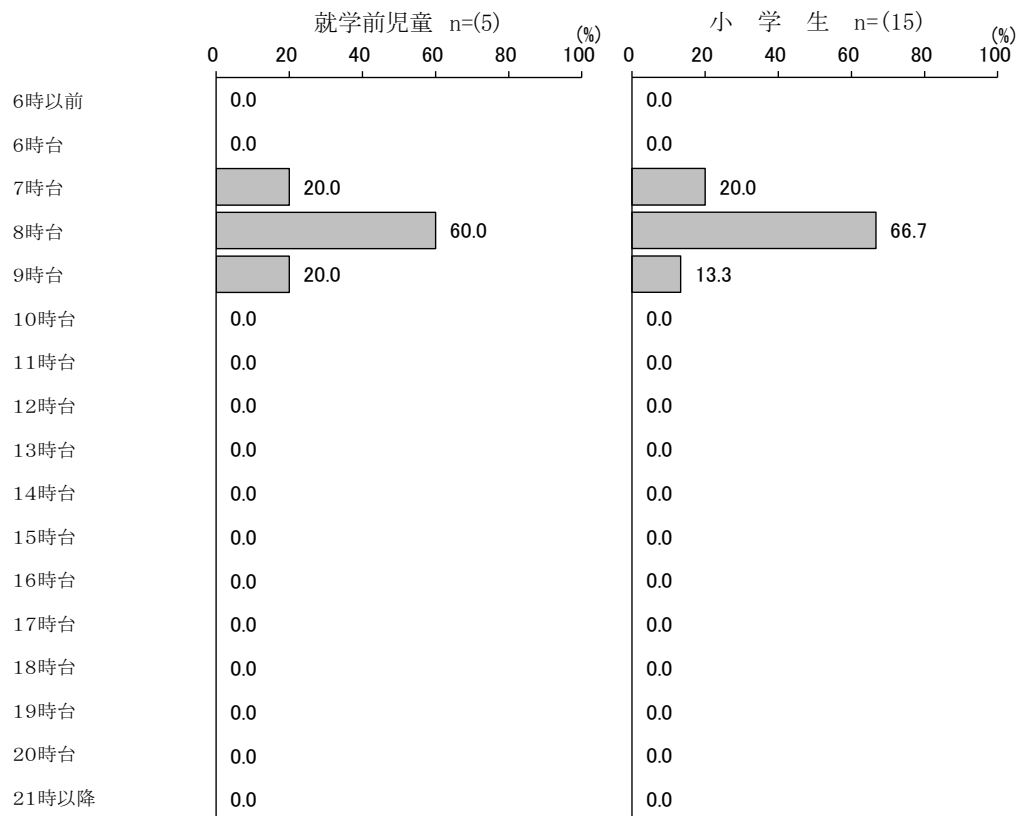
○日曜日・祝日の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、「利用する必要はない」（就学前児童 77.8%・小学生 82.3%）が大半を占めており、就学前児童では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（11.1%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（2.8%）を合わせた“利用したい”は13.9%となっている。小学生では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（3.4%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（5.1%）を合わせた“利用したい”は8.5%となっている。

○日曜日・祝日の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 60.0%・小学生 66.7%）が最も多く、希望終了時間をみると、就学前児童では「18時台」（40.0%）のほか、「15時台」「16時台」「17時台」（ともに20.0%）となっており、小学生では「18時台」（60.0%）が最も多く、以下「17時台」（26.7%）、「16時台」「19時台」（ともに6.7%）と、小学生の方がやや希望終了時間が遅くなっている。

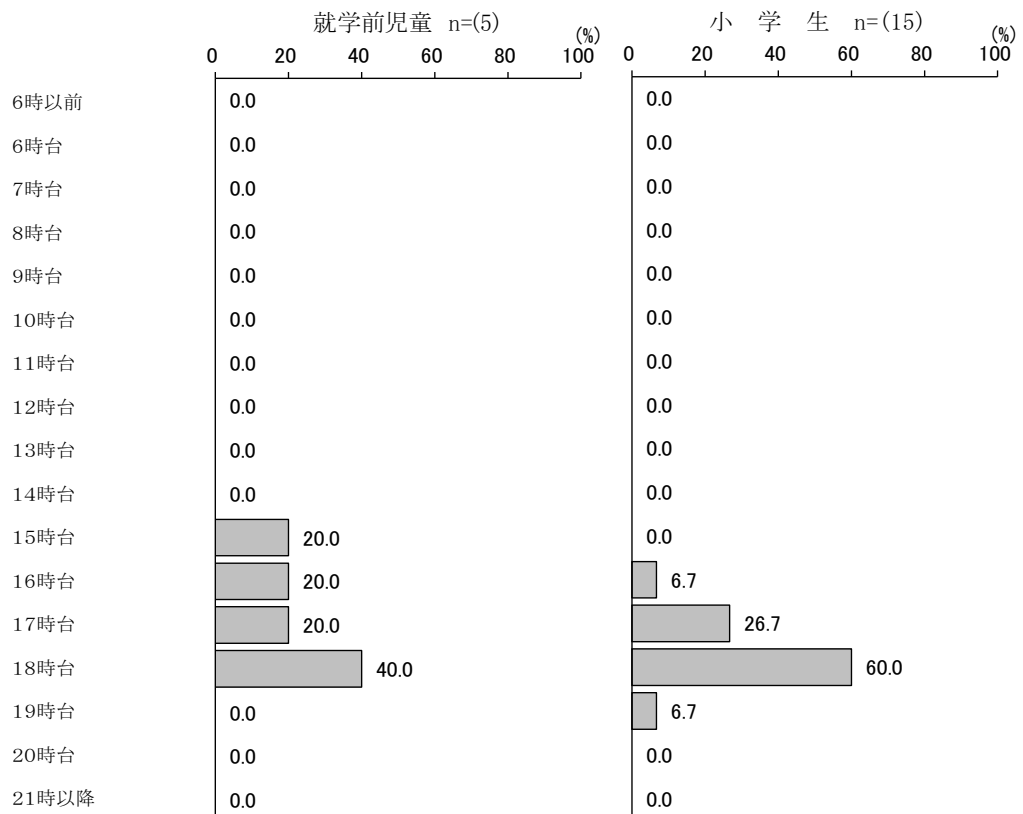
(2) 日曜日・祝日



日曜日・祝日の希望開始時間



日曜日・祝日の希望終了時間



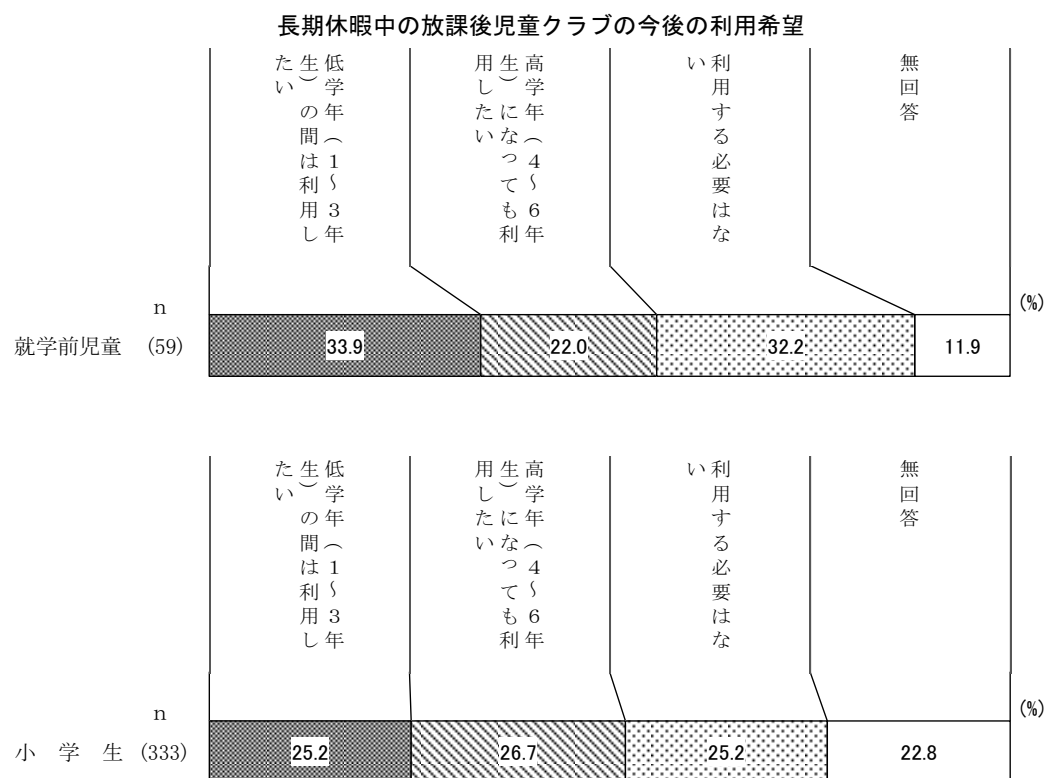
- 長期休暇中の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（就学前児童 33.9%・小学生 25.2%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（就学前児童 22.0%・小学生 26.7%）を合わせた“利用したい”は就学前児童では55.9%、小学生では51.9%となっており、土曜日、日曜日・祝日に比べてニーズが高い。
- 長期休暇中の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 60.6%・小学生 65.3%）が最も多く、希望終了時間は「17時台」（就学前児童 39.4%・小学生 48.0%）、「18時台」（就学前児童 42.4%・小学生 42.8%）が最も多くなっている。

【就学前児童 問26】【小学生 問15】

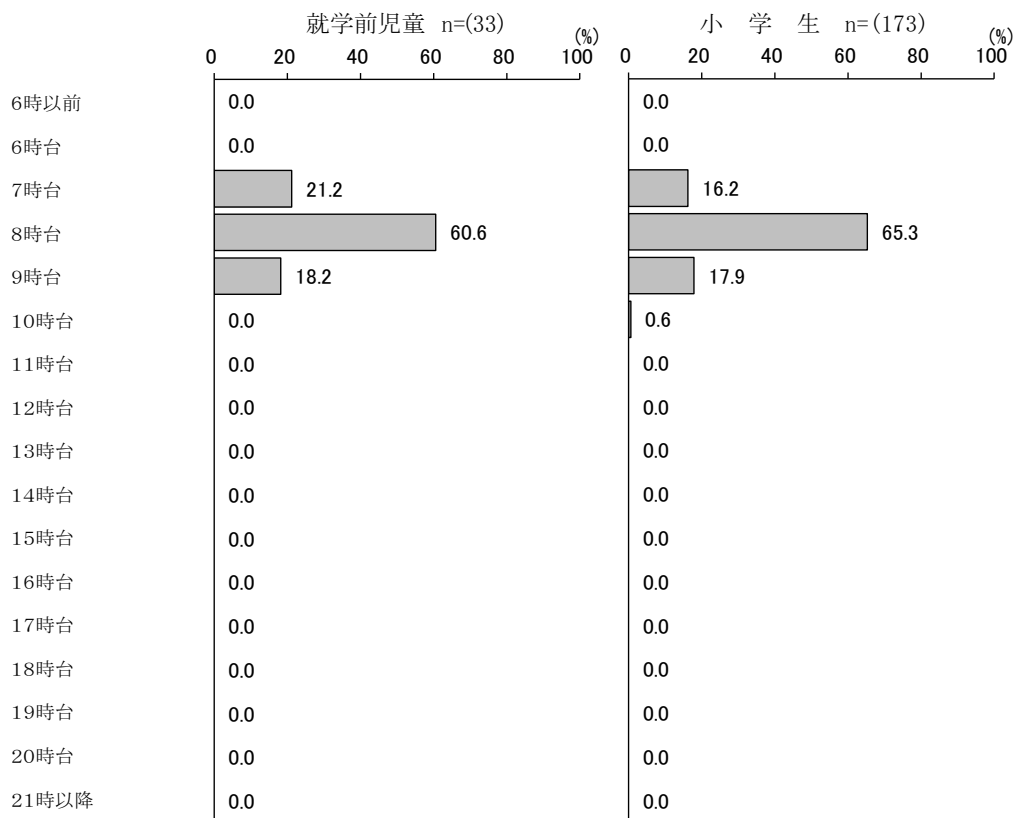
宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

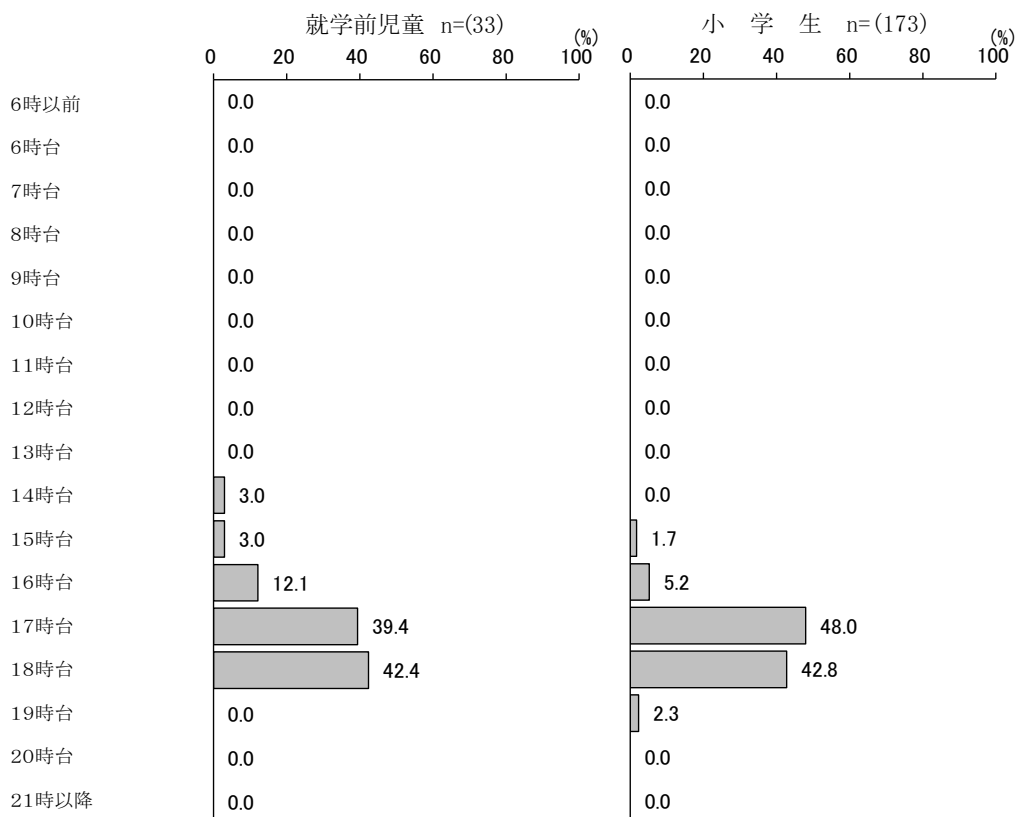
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。



長期休暇中の希望開始時間



長期休暇中の希望終了時間



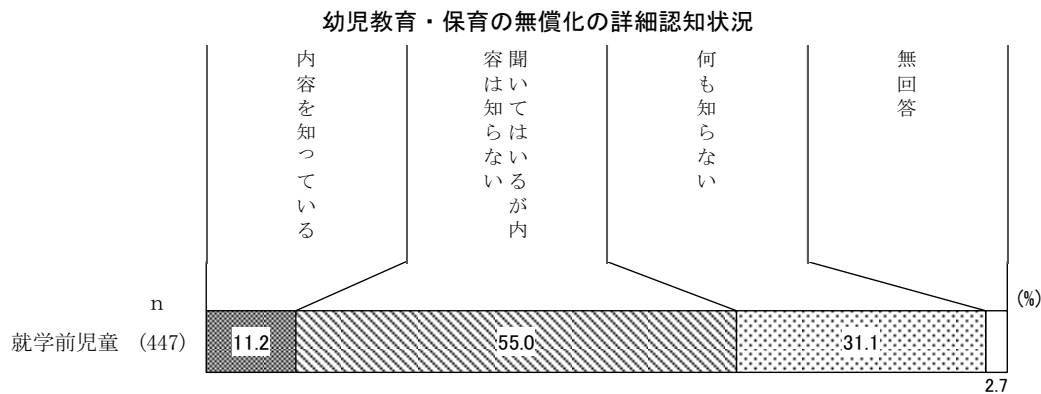
4. 幼児教育・保育の無償化について

(1) 幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況

○幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況をみると、「聞いてはいるが内容は知らない」(55.0%)が最も多く、「内容を知っている」は11.2%にとどまっている。なお、「何も知らない」と回答している方も31.1%いることから、今後、内容の詳細も含めての幼児教育・保育の無償化の制度の周知徹底が重要と考えられる。

【就学前児童 問28】

2019年10月から、3～5歳児の幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象となることを知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

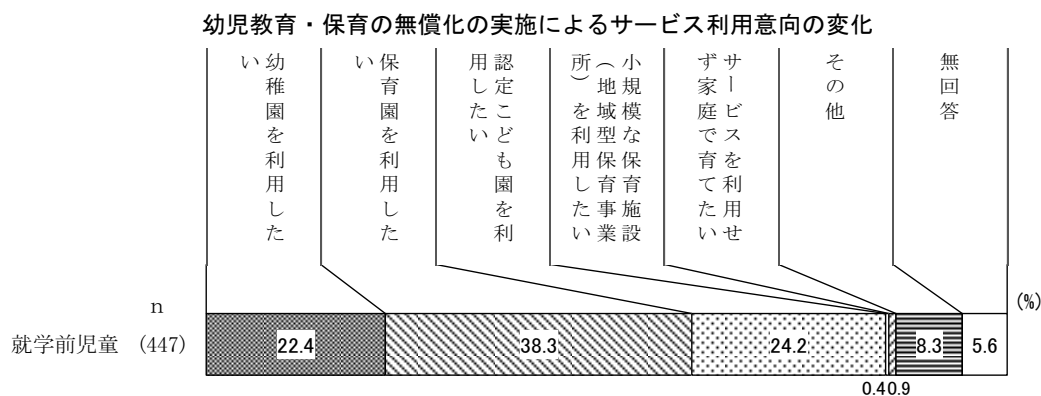


(2) 幼児教育・保育の無償化の実施によるサービス利用意向の変化

○幼児教育・保育の無償化の実施によるサービス利用意向の変化をみると、「保育園を利用したい」(38.3%)、「認定こども園を利用したい」(24.2%)、「幼稚園を利用したい」(22.4%)の順になっており、サービスを利用したいと考える方は約85%となっている。

【就学前児童 問29】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、宛名のお子さんのサービス利用意向に変化はありますか。(あてはまる番号1つに○)



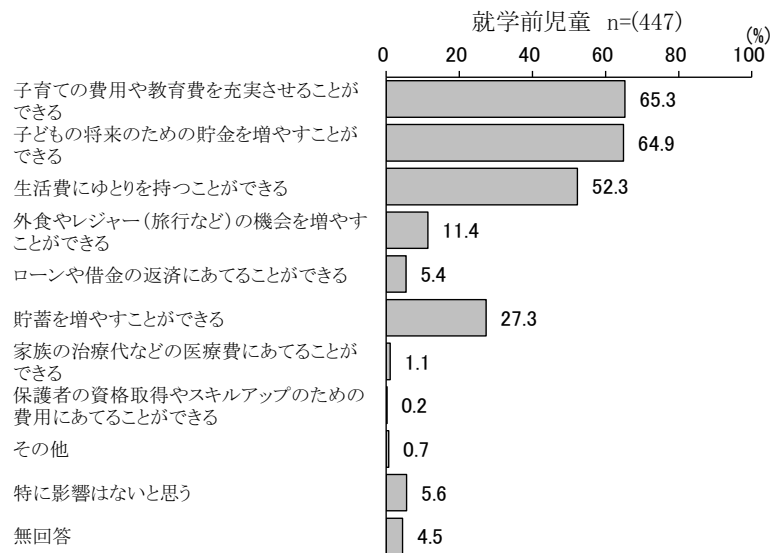
(3) 幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響

○幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響をみると、「子育ての費用や教育費を充実させることができる」(65.3%)、「子どもの将来のための貯金を増やすことができる」(64.9%)がともに多く、以下「生活費にゆとりを持つことができる」(52.3%)、「貯蓄を増やすことができる」(27.3%)の順になっている。

【就学前児童 問30】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、家庭生活にはどのような影響があると思いますか。(あてはまる番号3つまでに○)

幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響



(4) 幼児教育・保育の無償化の実施によりさらに子どもを持つことへの考えの変化

○幼児教育・保育の無償化の実施によりさらに子どもを持つことへの考えの変化をみると、「考えないと思う」(35.8%)が最も多く、「あまり考えないと思う」(15.2%)を合わせた“考えないと思う”は51.0%と「前向きに考えると思う」(19.9%)と「少し前向きに考えると思う」(23.0%)を合わせた“前向きに考えると思う” (42.9%)をやや上回っている。

【就学前児童 問31】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、子どもをさらに持ちたいと考えますか。

(あてはまる番号1つに○)

幼児教育・保育の無償化の実施によるさらに子どもを持つことへの考えの変化

